

(仮称) 小千谷市防災センター新築工事（空気調和設備工事）

図面番号	図 面 名 称	縮尺(A3)
M 01-01	特記仕様書(1)	N.S
M 01-02	特記仕様書(2)	N.S
M 02-01	敷地案内図	N.S
M 03-01	配置図	1/1000
M 04-01	工事区分表	N.S
M 05-01	凡例	N.S
M 06-01	要領図	N.S
M 07-01	空調設備 機器表(1)	N.S
M 07-02	空調設備 機器表(2)	N.S
M 07-03	空調設備 系統図	N.S
M 07-04	空調設備 1階平面図	1/300
M 07-05	空調設備 2階平面図	1/300
M 07-06	鋼製床図 特記仕様書【参考図】	N.S
M 07-07	鋼製床伏図(1)【参考図】	1/160
M 07-08	鋼製床伏図(2)【参考図】	1/10
M 07-09	鋼製床伏図(3)【参考図】	1/2, 1/10
M 08-01	換気設備 系統図	N.S
M 08-02	換気設備 機器表	N.S
M 08-03	換気設備 1階平面図	1/300
M 08-04	換気設備 2階平面図	1/300
M 08-05	換気設備 R階平面図	1/300

[illegible]

<p>Ⅱ 工事仕様</p> <p>1.共通仕様</p> <p>(1)特配仕様書及び図面に記載されていない事項はすべて、ア、ウによる。ただし、イによる場合は、アによるものと同等とみなす。</p> <p>ア 国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) (最新版)」、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備) (最新版)」及び「公共建築設備工事標準図 (最新版)」</p> <p>イ 国土交通省大臣官房官庁営繕部の「機械設備工事公共仕様書 (最新版)」、「公共建築工事標準仕様(機械設備工事編) (最新版) 対応追補」、「機械設備工事標準図 (最新版)」及び「公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (最新版) 対応追補」</p> <p>ウ 東日本高速道路(株)機械工事公共仕様書(最新版)</p> <p>2.特配仕様</p> <p>●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。</p>		
●機材等	<p>(1)本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとす。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。また、機材等が品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関(社)公共建築協会他)が発行する資料の写しを監督職員に提出し承認を受ける。</p> <p>機材の承認図は、国土交通省大臣官房官庁営繕部建築製技術管理室監修の機械設備工事機材承認図様式(最新版)によるほか、監督職員の指示による。</p> <p>(2)「国等による環境物品等の製造の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定製造品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たすものとする。</p> <p>(3)化学物質を発生する建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。</p> <p>1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーチクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗装材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>2)保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びヒステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>3)接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発生のも可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>4)塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>5)上配)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。尚、ホルムアルデヒドを発生しないものとは発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとは発散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料がない場合は、第三種のものを使用するものとする。</p> <p>また、「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。</p>	
	ホルムアルデヒドの発散量	<p>規 制 対 象 外</p> <p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③下記表示のあるJAS規格品</p> <p>a.非ホルムアルデヒド系接着剤不使用</p> <p>b.接着剤等不使用</p> <p>c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用</p> <p>d.ホルムアルデヒドを放散しない塗装等使用</p> <p>e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗装使用</p> <p>f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗装等使用</p>
	第 三 種	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③旧JISのEo規格品</p> <p>④旧JASのFco規格品</p>
●再資源化等	<p>本工事は、特定建設施設を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準による工事であるため、建設リサイクル法に基づき特定建設資材の分別解体等及び再資源化等を実施する。</p>	
●主任技術者等の資格	<p>下記技術者の資格を証明する資料を監督職員に提出する。</p> <p>●管工事に係る監理技術者資格者証を有する者</p> <p>●管工事に係る主任技術者の資格を有する者</p> <p>○一式請負工事に係る専門技術者 ()</p>	
○電気保安技術者	○ 適用する	○ 適用しない
●技能士の適用	<p>● 配管施工(配管工事) ● 建築板金施工(ダクト製作及び取付け)</p> <p>● 熱絶縁施工(保温工事)</p> <p>○ 冷凍空調機器施工(冷凍空調機器の据付)</p>	
●機材等の検査及び試験	<p>検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書による。但し、工場検査に関しては監督職員と協議のうえ決定する。</p>	
●官公署への手続き	<p>本工事の施工及び完成に必要な所轄官庁等への申請届出手続、及び検査等一切を請負業者が代行して速やかに行う。</p>	

●監督事務所

●工事用電力 水 その他

●工事実績情報の登録

●工事用仮設物

●建盤発生土の処理

●発生材の処理

●埋め戻し土

●提出書類

○ 設けない

● 設ける(建築特記による)

本工事に必要な工事用電力、水等の費用はすべて施工者の負担とする。

工事実績情報(CORINS)の登録をする。

構内につくることが

○ できる

○ できない

● 構内指示の場所に散らし

○ 構内指示の場所にたい積

○ 構外搬出処理(受入施設名:

(住 所:

● 今回工事で処理する

○ 発生材として残す

(残す場合:

引き渡しを要するもの以外は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱等の関係法令に従い、構外搬出処理とする。

(処分地:

PCB使用機器は、関係法令等に従い適切に処理すること。

● 根切り土の中の良い質土(ただし、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)

○ 山砂の類

記載なきものについては以下の項目を提出する。

(1)着工時及び工事中の提出図書

●印の書類を提出する

提出図書	サイズ	備考
● 実施工程表	(A1)	施工全体工程、出来高予定表、他工事の工程を含める。
● 総合施工計画書	(A3)	機器の発注・製作・搬入計画、施工図
● 精算契約書(写)	(A4)	
● 精算契約内訳明細書	(A4)	
● 施工計画書	(A4)	
● 現場代理人・主任技術者届(写)	(A4)	
● 設計図の縮小版製本	(A4)	
● 着工時現場写真	(A4)	改修工事の場合、改修前後を相対させる。
● 埋設配管施工調査報告書		施工前の既存埋設管等
● 使用機材通知書		
● 下請負人通知書		
● 施工図	(A1)	着工の2週間以上前
● 各検査報告書	(A4)	検査後直ちに
● 承認図・製作図	(A4)	発注の2週間以上前
● 月間・週間工程表	(A3)	月間には進捗状況を記入
● 打合せ議事録	(A4)	打合せ後直ちに
● 設計変更見積書	(A4)	打合せ毎に
● 月間工事出来高明書	(A4)	対象月の翌月の当初に
● 工事記録写真	(A4)	工事完了検査の3日前、アルバム製本
● 工種別施工計画書		着工の2週間以上前
● 関係官公署等への届出書類	(A4)	
● 見本品その他	(A4)	

(2)完成時提出図書

提出図書	要	備考
完成図 (竣工図) 3部	ニッ折製本(A1)	● 総合図を含める
	ニッ折製本(A3)	● 埋設物総合図を含める
	原図一式	●
	CADデータ	●
施工図	ニッ折製本(A1)	●
	ニッ折製本(A3)	●
	原図一式	●
	CADデータ	●
竣工写真	カラー(キャビネ版)	● 撮影箇所20箇所程度
	写真データ(CD-R)	● 建物全体4箇所程度 指定アルバム入
機器完成図	取扱説明書	● 監督員の指示するA4ファイルにて提出する
	総合軌運転転記録表	●
	保守管理要領書	●
	機器完成図	●
	関係官公署・検査証	●
	発生材調書	●
	機器性能試験成績書	●
	各竣工検査報告書	●
予備品その他	●	

(3)その他

1)屋外埋設物総合図

本工事及び関連するすべての工事を盛り込んだ最終の屋外埋設物総合図を竣工時に作成し各工事の竣工図に盛り込むこと。

2)総合図

施工図作成前に1/50の建築平面図及び展開図・天井伏図に、機械・電気・その他関連工事(想定備品を含める)の位置・高さ・その他係員が指示するものを書き入れた総合図(ワット図)を作成し、一般施工図に先だって係員の承認を得ねばならない。

3)技術検査報告書

中間検査、完成検査等管理者が行う検査については現場代理人が必ず随行し指摘事項についてはすべて記録し、その改善方法、今後の対策などを盛り込んだ検査報告書を作成し、係員に提出すること。

●施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

●工事写真等

(1)写真の撮り方は、「工事写真の撮り方(改訂第3版)建築製備編 建設大匠官庁官庁営繕部監修」(最新版)による。

(2)建築特記A~N2を原則提出する。

● 工事写真 : サービス判(工事写真指定アルバム入)

● 写真データ(整理ソフト使用)(● CD-R ○ MO)

○ 竣工写真 : キャビネ判[完成写真指定アルバム入]撮影枚数 枚

○ ProPhoto CD-ROM[84BASE]

●案内板

●総合調整

●電源周波数

●容量等の表示

●品質計画等

●耐震措置

●地中埋設標等

●絶縁フレンジ

●保温

●塗装

●電線類

○はつり

●合成樹脂製
ナットキャップ

●他工事との取り合い

●凍結対策

●標識その他

機器等の取り付け方法、重要な定期点検項目、注意事項、系統図、非常時連絡先等を記載したアルミ樹脂製の案内板を下配の機械室に貼ける。大きさは、1.0m以上とする。

●本工事 ○別途工事
(項目) ● 風量調整 ○ 水量調整 ● 室内外空気の温度湿度の測定
 ● 室内気流の測定 ● 騒音の測定 ● 初期運転状態の記録
 ○ 水質の測定 ○ 室内しんあいの測定 ● 振動の測定
 ● 外気取入口の外気質の測定
● 50Hz ○ 60Hz
(1)機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失は原則として表示された数値以下とする。
建築基準法に基づく(風圧区分等)を必要とする場合は次にによる。
※風速 $V = (36m/s)$ (平12建造物第1454号第2)
※地表面粗度区分 ・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
※積雪区画 平12建造物第1455号 別表(27)

設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所監修建築設備新設計・施工指針(最新版)」により行う。
ただし、設計用地震力(水平及び垂直)は、下表の設計用水平震度KH及び設計用鉛直震度KV(KH/2)を用いて計算する。
設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。
設計用水平震度 KH

設置場所	上階層と屋上及び塔屋	中 間 階	1階及び地下階
重要機器	1.5 (2.0) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>	0.6 (1.0) <1.0>
一般機器	1.0 (1.5) 1.0	0.6 (1.0) <0.6>	0.4 (0.6) <0.6>

(注)①、> のない数値は、固定の機器の場合に適用する。
()内の数値は、防護支持の機器の場合に適用する。
< >内の数値は、水槽類に適用する。

※上階層とは、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層1階を指す。
中間階とは、地下階、1階を除く各階で上階層に該当しないもの(平屋建の場合はなし)

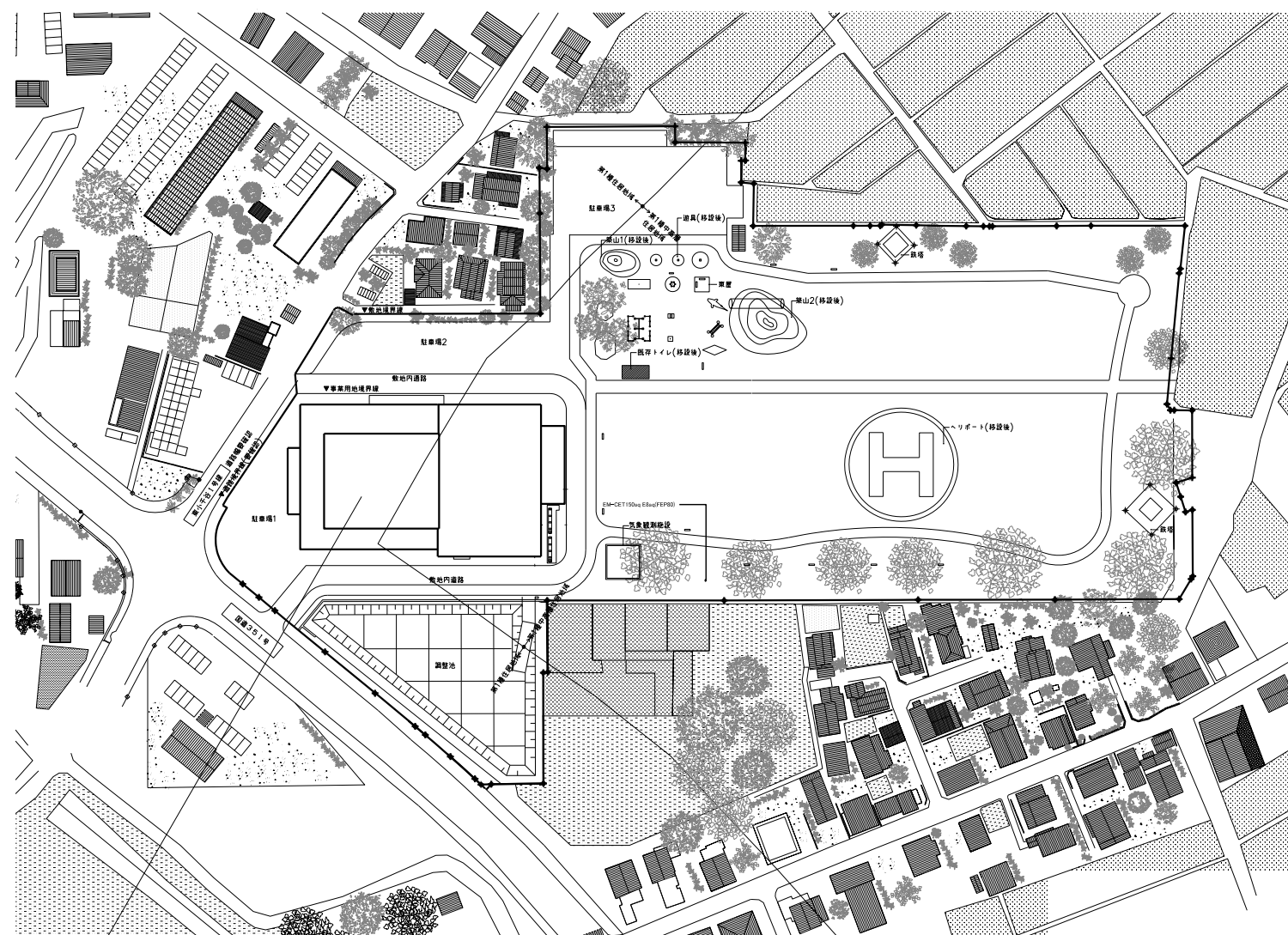
重要機器、水槽類は次のものを示す。
重要機器(○冷凍機 ○蒸気ボイラー ○冷却塔

● 一 般 共 通 事 項	●化学物質の濃度測定	建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定を（・行う・行わない） ○本工事 ●建築工事 ○別途工事 測定対象化学物質、測定方法、測定対象室及び測定個所数は、特記による。 （室名：各層居室 個所数： ）
	○ビット内通気	3スパンに1箇所毎にVP100φをGL+300まで立上げエルボ返し。 （先端防虫網付）
	●保全に関する資料	（1）資料の概要 ●作成する ○作成しない ●建築物等の維持保全に関する説明書（建築保全センター発行「管理者のための建築物保全の手引き」（最新版）を参照し監督職員と協議する。 ●長期保全計画書（20年の保全計画、保全費用等） ●主要な材料・機器一覧表 ●機器類の關係図面及び取扱説明書 ●機器性能試験成績書 ●官公署への届出書類の副本、検査合格書、検査済証等 ●保証書
	●後打アンカー	●事前に電気配管等が無いか調査し、鉄筋等を損傷しないようにメタルスイッチ付のドリルで施工を行うこと。
● 空 気 調 和 設 備	●支持金物固定金具	(1)屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製（SUS304）とする。 (2)屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製（SUS304）又は、溶融亜鉛メッキ仕上げ（2種35）とする。
	●防振支持	下配の設備機材の支持については防振支持を施す。 ●機械室内の配管及びダクトの支持 ●モーターを所持する機器への支持 ●屋上設置機器の支持
	●許容騒音	1)屋外への騒音（室外機器、冷却塔及び外壁ガラリ等）は、敷地境界上⑥道路の場合GLより高さ12mでの騒音値を確認し騒音規制及び下配の条件の許容値を満足させること。
	●参考メーカー	当敷設計図書にて参考とした主なメーカーは以下とする。
● 空 気 調 和 設 備	時間区分	
	昼間 午前8時～午後6時まで	
	朝夕 午前6時～午前8時 午後6時～午後11時	
	夜間 午後11時～午前6時まで	
● 空 気 調 和 設 備	●設計温湿度	屋外温湿度 一般系統 外気 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏期 33.9℃ 57.3℃ 冬期 2.3℃ 42.4℃ 屋内温湿度 一般系統 体育館系統 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏期 28.0℃ 成行 28.0℃ 成行 冬期 20.0℃ 成行 20.0℃ 成行 ※湿度は成行とする。
	○銅板製煙道	(1)銅板厚(○ 3.2mm ○ 4.5mm) (2)ばい煙温度計 ○ 敷ける ○ 敷けない (3)ばいじん量測定口 ○ 敷ける(測定口は80φ以上とする) ○ 敷けない 低圧ダクト(○アングル工法 ●コーナーボルト工法(●共板 ○スライド))とする。 1,500mmを超えるダクトは、アングル工法ダクトとする。 ダクト材料は下配によるものとする。 ● 亜鉛銅板ダクト(一般ダクト) ○ ステンレス製ダクト(屋外ダクト・浴場排気ダクト・厨房系排気ダクト) ○ グラスウールダクト(適用範囲は図示による) ○ 樹脂コーティングダクト(適用範囲は図示による) ○ 植毛銅板ダクト ● スパイラルダクト ● 保溫付フレキシブルダクト ※制気口への接続は消音フレキダクト(1m以上)を使用する。 長方形ダクトの縦横比は、原則として4以下とする。 防火区画を貫通するダクトの隙間4穴埋めは、(●モルタル ●ロックウール)とする。 防火区画を貫通するダクトの保溫はロックウール保溫材とする。 フレキシブルダクトは不燃材料の認定品とし、空腔の場合は保溫材付きのものとする。
	○風量測定口	○ 図示した位置 ○ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ○ 外気取入れダクト ○ 空調機出口チャンパの分岐ダクト
	●チャンパ	(1)内影りを施すチャンパの表示寸法は外形寸法を示す。 (2)空気調和機に取り付けるサブライチャムパ、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りをしたチャンパには、点検口を設ける。大きさは400×300とする。 (3)外壁ガラリに取付けるチャンパ及びホッパーは、雨水が滞留しないように施工する機器の制御壁及び操作壁は標準仕様書第2編1.2.2を適用する。
● 空 気 調 和 設 備	○制御壁及び操作壁	

○ダンパー	(1)防煙ダンパー 複層方式(○ 隔風 ○) 定格入力はDDC24V、0.7A以下とする。 (2)ピストンダンパー 複層方式(○ 隔風 ○)
●配管材料 (凡例による)	(1)冷温水管 ○ 配管用炭素鋼管(白) ○ (2)温水管 ○ 配管用炭素鋼管(白) ○ 配管用炭素鋼管(黒) ○ 圧力配管用炭素鋼管(黒)(Sch40) ○ ステンレス鋼管(SUS304)(JIS G 3448) (3)冷却水管 ○ 配管用炭素鋼管(白) ○ (4)油管 ○ 配管用炭素鋼管(黒) ○ (5)膨張管、空気抜き管、ドレン管及び膨張タンクより温水機等への配管は下配とする。 土中埋設部 ○ ビニル管(VP) ○ 配管用炭素鋼管(白) (6)冷媒管 ○ 断熱材被覆銅管(製造者標準) ○ 銅管 (7)蒸気給気管 ○ 配管用炭素鋼管(黒) ○ 圧力鋼管用炭素鋼管(黒)(Sch40) 還 管 ○ 圧力配管用炭素鋼管(黒)(Sch40) ○ ステンレス鋼管(SUS304)(JIS G 3448) (8)ボイラの補給水管・ブロー管 ○ 圧力配管用炭素鋼管(黒)(Sch40) ○ ○ ステンレス鋼管(SUS304)(JIS G 3448) (9)その他ドレンの立管最末端には防臭、防虫対策として、エアークットバルブを設置する。
○弁・継手類	(1)弁類の耐圧(○ 5K ○ 10K) (2)銅管用伸縮管継手は、(○ ペロー形 ○ スリーブ形)とする。 (3)蒸気給気管の弁は玉形弁とし、耐圧は図示による。 (4)蒸気トラップ装置類は図示による。 (5)蒸気管の可とう継手 仕管 ○ボールジョイント ○フレキシブルジョイント 還管 ○ボールジョイント ○フレキシブルジョイント (6)蒸気管の銅管用伸縮管継手は、ペロー形とする。
○温度計	取付部は標準仕様書によるほか下配による。 ○ 温水発生機の温水管(出入口) ○ 冷凍機の冷水管(出入口)及び冷却水管(出入口) ○ 直置き吸収冷水機の水温水管(出入口)及び冷却水管(出入口) ○ 空気調和機の冷水水管(出入口) ○ 空気調和器(パナケーン含む)のサブライチャムパ・レタンダクト、外気取入ダクト及びミキシングチャンパ ○ 冷水水ヘッダー(注)及び各選り管 ○ 熱交換器の温水管(出入口)
○圧力計	取付部は標準仕様書によるほか下配による。 ○ 温水発生機の温水管(出入口) ○ 冷凍機の冷水管(出入口) ○ 直置き吸収冷水機の水温水管(出入口)及び冷却水管(出入口) ○ 空気調和機の冷水水管(出入口) ○ 空気調和器の水温水管(出入口) ○ 熱交換器の温水管(出入口)
○瞬間流量計	コック付とし、取付部は下配による。なお、瞬間流量計は(○固定式 ○着脱式)とする。 着脱式の場合は指示部として()を付属する。 ○ 温水発生機の温水管(入口) ○ 冷凍機の冷水管(出口)及び冷却水管(出口) ○ 直置き吸収冷水機の水温水管(出口)及び冷却水管(出口) ○ 空気調和機の冷水水管(入口又は出口) ○ 冷水水ヘッダーの各選り管又は各選り管 ○ 熱交換器の温水管(入口又は出口)
○絶縁フランジ	○ 図示の箇所に取付ける。
○地下オイルタンク	(1)据付け方法 ○ タンク室を設ける ○ タンク室を設けない (2)タンクの保護材 ○ エポキシ樹脂被覆 ○ 錆止め塗装 (3)コンクリート躯体 ○ 別途工事 ○ 本工事 (4)乾燥砂 ○ 別途工事 ○ 本工事
●保溫	標準仕様書第2編3.1.4によるほか下配による。 ○ 廻りダクトの保溫要(保溫の厚さ25mm、吸込口から本体まで、) ○ 外気ダクトの保溫要(○ 本体から外壁まで ○ 外壁から1 mまで) 保溫厚 25mm ○ 排気ダクトの保溫要○ 本体から外壁まで ○ 外壁から1 mまで) 保溫厚 25mm ○ 調湿外気処理機に接続するダクトは保溫を行う。 ○ 外気取入ダクト(○ 外壁から吹出口まで ○ 外壁から1 mまで) 保溫厚 25mm ○ 排気ダクト (○ 本体から外壁まで ○ 外壁から2 mまで) 保溫厚 25mm ○ 建物内の空気抜き管の保溫は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ● 冷媒管の保溫の外装は下配による。なお、保溫化粧ケースは塩化ビニル樹脂製とする。 屋内露出 ○ 綿布 ●カラー銅板 屋外露出 ●ステンレス銅板 ●保溫化粧ケース ○ラック・ダクト 屋内隠す ●製造者標準 ○ ● 空気調和機、ファンコイルユニット及びエアコン類のドレン管の保溫は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ○ 膨張タンクより温水機等への補給水管の保溫は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 蒸気管の保溫は標準仕様書第2編3.1.4によるほか下配による。 ○ 高圧(蒸気圧0.1Mpa以上)の蒸気管、蒸気ヘッダーの保溫厚は、低圧(0.1MPa未満)と同じ仕様とする。 ○ 高圧(蒸気圧0.1MPa以上)の蒸気管、弁類、ヘッダーの保溫材は、ロックウール保溫材とする。
●換気設備	低圧ダクト(○アングル工法 ●コーナーボルト工法(●共板 ○スライド))とする。 1,500mmを超えるダクトは、アングル工法ダクトとする。 ダクト材料は下配によるものとする。 ● 亜鉛銅板ダクト(一般ダクト) ○ ステンレス製ダクト(屋外ダクト・浴場排気ダクト・厨房系排気ダクト) ○ グラスウールダクト(適用範囲は図示による) ○ 樹脂コーティングダクト(適用範囲は図示による) ○ 植毛銅板ダクト ● スパイラルダクト ○ 保溫付フレキシブルダクト ※制気口への接続は消音フレキダクト(1m以上)を使用する。 長方形ダクトの縦横比は、原則として4以下とする。 防火区画を貫通するダクトの隙間4穴埋めは、(●モルタル ●ロックウール)とする。 防火区画を貫通するダクトの保溫はロックウール保溫材とする。 フレキシブルダクトは不燃材料の認定品とし、空腔の場合は保溫材付きのものとする。
○排水設備	低圧ダクト(○アングル工法 ●コーナーボルト工法(●共板 ○スライド))とする。 1,500mmを超えるダクトは、アングル工法ダクトとする。 ダクト材料は下配によるものとする。 ● 亜鉛銅板ダクト(一般ダクト) ○ ステンレス製ダクト(屋外ダクト・浴場排気ダクト・厨房系排気ダクト) ○ グラスウールダクト(適用範囲は図示による) ○ 樹脂コーティングダクト(適用範囲は図示による) ○ 植毛銅板ダクト ● スパイラルダクト ○ 厨房排気系統の長方形ダクトはアングルフランジ工法とし、板厚は標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。 ※制気口への接続は消音フレキダクト(1m以上)を使用する。 長方形ダクトの縦横比は、原則として4以下とする。 防火区画を貫通するダクトの隙間4穴埋めは、(●モルタル ●ロックウール)とする。 防火区画を貫通するダクトの保溫はロックウール保溫材とする。 フレキシブルダクトは不燃材料の認定品とし、空腔の場合は保溫材付きのものとする。

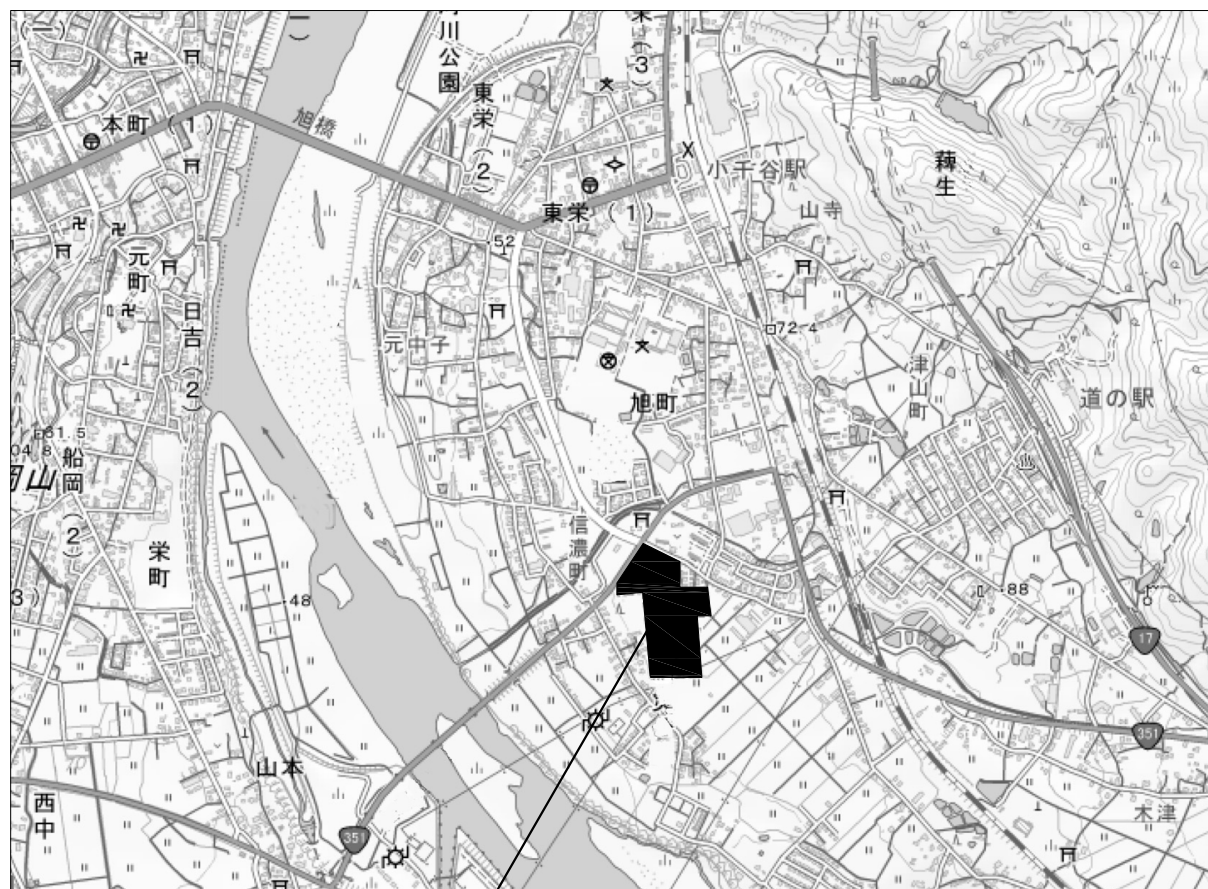
○風量測定口	○ 図示した位置 ○ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ○ 外気取入れダクト ○ 空調機出口チャンパの分岐ダクト 空気調和設備の当該項目による。 ○ 厨房系統 ○ 浴室(シャワー室を含む)系統 ○ 脱衣室 空気調和設備の当該項目による。 下配のダクトは保溫を行う。 ●外気ダクトの保溫要(保溫の厚さ 25mm) ●排気ダクトの保溫要(保溫の厚さ 25mm、範囲は外壁から 2mまで。) ○調湿外気処理機に接続するダクト(空気調和設備の当該事項による) ○(○ 厨房 ○ 湯沸室 ○)系統の暖べい部排気ダクト仕様は標準仕様書第2編3.1.4の排煙ダクトの項による。(範囲は図示による)
○排煙設備	(1)ダクト ○亜鉛鉄板 ○耐火仕様 (2)排煙口の形式 ○天井取付(○スリット形 ○スイング形) ○壁取付(○スリット形 ○) ○天井チャンパー方式 (3)排煙口開放及び方式 ○フワイヤ式 ○電気式 (4)復帰方式 ○昇降○遠隔操作 ○手動操作) ○無 (5)排煙風量測定 建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。 (6)ダンパー 防火ダンパー 溶解温度280℃
●構成その他	図示による。 ●電気計装工事の記録 (1)使用する電線種はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4.2.12を使用する電線管の規格による。(機器、盤類は除く) (2)屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 (3)天井隠べいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。
○衛生器具付風水栓	水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。
○和風大便器耐水カバー	○ 設ける(ビツ内は除く) ○ 設けない
○洗面器などの排水管	○手洗器の器具トラップ口径は32Aとする。
○小便器自動洗浄装置	小便器自動洗浄装置設置及び組み込み小便器の洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量を制御できるものとする。
○衛生器具ユニット	ユニットの配管材料は、別図衛生器具ユニットの仕様表による。
○給水設備	○配管材料 (凡例による) (1)給水引込管(本管～量水器)水道事業者の指定による() ○ ステンレス鋼管(SUS316)(JIS G 3448又はJWWA G 115) ○ (2)地中埋設配管 ○ ステンレス鋼管(SUS316)(JIS G 3448又はJWWA G 115) ○ 水道用ポリエチレン管(JISK6762)(外部散水系統) ○ 水道用硬質塩ビライニング鋼管(SGP-VD) (3)一般配管 ○ ステンレス鋼管(SUS304)(JIS G 3448又はJWWA G 115) ○ 水道用硬質塩ビライニング鋼管(OSGP-VA OSGP-VB)
○水栓	○ 水抜栓を使用する場合、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とし、室内は固定こま式とする。
○水栓柱	一般水栓柱(○ 合成樹脂製 ○ 人研製) ○不凍水栓柱 ○凍結防止カバーを取付ける。 ○ 親メーター用 ○ 水道事業者指定品 ○ 標準図MC形 ○ 子メーター用 ○ 水道事業者指定品 ○ 標準図MC形
○量水器	(1)弁類の耐圧 ○ 水道直結部分(○ 10K ○) ○ その他の部分(○ 5K ○) (2)50A以下の弁類 ○ ステンレス鋼弁 ○青銅弁 (3)65A以上の弁類 ○ステンレス鋼弁 ○ライニング弁 ○アルミバタフライ弁 (4)逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。
○量水器	○親メーター(○ 貸与品 ○) ○子メーター(○ 貸与品 ○ 買取)
○管の埋設深さ	管の上端より原則として、一般敷地は(○ 30cm ○ 60cm) 構内道路は(○ 60cm ○ 120cm)以上とする。
○保溫	標準仕様書第2編3.1.5によるほか下配による。 ○ 給水管は防凍保溫を行う。(範囲は屋外露出)
○建物導入部配管	標準図施工4.5の(○ (a) ○ (b) ○ (c))による。
○引込納付金等	○ 要(○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要
○その他	
○配管材料 (凡例による)	(1)屋内 汚水管(汚水管及び汚水管に接続される雑排水管に適用する。) ○ 排水用タールエポキシ塗装鋼管 ○ ビニル管(VP)(土中埋設部) ○ 鉛管(衛生陶器接続部) ○ メカニカル形排水用錆鉄管 ○ 床上排水の洋風便器の接続部は、VPとする。 雑排水管(汚水管に接続しない雑排水管に適用する。) ○ 配管用炭素鋼管(白) ○ ビニル管(VP)(土中埋設部) ○ 鉛管(衛生陶器接続部) ○ メカニカル形排水用錆鉄管 通気管 ○ 配管用炭素鋼管(白) ○ ビニル管(VP)(土中埋設部) ポンプアップ管 ○ 配管用炭素鋼管(白) (2)屋外 第一雨まで ○ ビニル管(VP) 樹間 125A以下 ○ ビニル管(VP) 150A以上 ○ 遠心力鉄筋コンクリート管 ○ ビニル管(VP) ポンプアップ管 ○ 配管用炭素鋼管(白)
○洗面器等の排水管	(1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 (2)流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管(VP)でもよい。
○排水枰ふた	○ 錆鉄製ふたは錆付きとする。 ○ 600φ以上の錆鉄製ふたは、ボルトロック式とする。

○絶縁継手	図示の箇所に取付ける。 ○ 要(○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要
○保溫	標準仕様書第2編3.1.5によるほか下配による。
○その他	○格子窓には落葉キャッチャーを付属する。 ○流し排水はL管(○O取付)を使用し、流しの裏板内へ排水すること。 ○防水バンの排水接続は、直管接続とすること。但し、ゴム製ジョイント(松葉ゴムSG-50AZ)は使用可。 ○洗面所周りの躯体が下がっている範囲を貫通する配管周りはコーキングを行い、漏水時下階への広がりを防ぐ。 ○汚水堅管は遮音シート等で遮音処理を行う事(ビツ内メイン管接続まで) ○排水堅管の脚部継手後1.5M以上接続し、メイン横排水管に接続の事。 ○脚部継手は構造体の重量に支持を取る事。 ○釜場の排水ポンプのストレーナーは底から50mm以内とする ○ビツ内排水横主管の伸縮継手は15m程度を目安に設置する。 ○補修口は横主管10mに一直所あたり設置する。 ○排水管の共用部天井はグラスウール32K(25mm厚)遮音シート二重巻きとする。 ○最下階単独配管には回路通気管を設ける。 ○塩ビ系の配管を使用する場合は伸縮系継手の設置は直管部分30m毎に設置する。 ○通気管は管内結露の排水を取る為、適切に勾配をとること。
○配管材料 (凡例による)	(1)一般配管(膨張管共) ○ ステンレス鋼管(SUS304)(JIS G 3448又はJWWA G 115) ○ 銅管(銅及び銅合金無目管)硬質(M) ○ 保溫付被覆銅管 (2)浴槽循環用通配管 ○ ステンレス鋼管(SUS316)(JIS G 3448又はJWWA G 115)
○弁類	(1)弁類の耐圧(○ 5K ○ 10K(直結部分)) (2)50A以下の弁類 ○ ステンレス鋼弁 ○ 青銅弁 (3)65A以上の弁類はステンレス鋼弁とする。
○絶縁継手	図示の箇所に取付ける。
○保溫	湯沸器用排気管の保溫範囲は図示による。
○銅板製煙道	(1)銅板厚(○ 3.2mm ○ 4.5mm) (2)ばい煙温度計 ○ 敷ける ○ 敷けない (3)ばいじん量測定口 ○ 敷ける(測定口は80φ以上とする) ○ 敷けない
○地下オイルタンク	(1)据付け方法 ○ タンク室を設ける ○ タンク室を設けない (2)タンクの保護材 ○ エポキシ樹脂被覆 ○ 錆止め塗装 (3)コンクリート躯体 ○ 別途工事 ○ 本工事 (4)乾燥砂 ○ 別途工事 ○ 本工事
○その他	(1)貯湯湯沸器のオーバーフローは最寄りの流しに間接排水する。 間接排水口は機器付属品としてもよい。
○配管材料 (凡例による)	○ 屋内消火栓、屋外消火栓、連結散水用 (1)一般配管 ○ 配管用炭素鋼管(白) (2)地中埋設配管 ○ 消火用ポリエチレン外面被覆鋼管(SGP-VS) ○ 連結送水管(低層) (1)屋内一般配管 ○ 配管用炭素鋼管(白) (2)地中埋設配管 ○ 消火用ポリエチレン外面被覆鋼管(SGP-PS) ○ 連結送水管(高層) (1)屋内一般配管 ○ 圧力配管用炭素鋼管(白)(Sch40) (2)地中埋設配管 ○ 消火用ポリエチレン外面被覆鋼管(STPG370PS 品目Sch40) ○ 消防用水の排水用吸込管 (1)一般配管 ○ 配管用炭素鋼管(白) (2)地中埋設配管 ○ 消火用ポリエチレン外面被覆鋼管(SGP-PS)
○保溫	○ 消火管は防凍保溫を行う。(範囲は図示による) ○ 仕様は標準仕様書第2編3.5 給水管の項による。
○建物導入部配管	標準図施工4.5の(○ (a) ○ (b) ○ (c))による。
○消火器	○本工事(ABC粉末10型×8個) ○ 別途建築工事
○消火器埋込BOX	○本工事 ○ 別途建築工事
○その他	●特記なき限り、放水口・消火栓等のBOXは銅板製機付塗装とし、屋内消火栓箱は火災報知器併設型とする。 ○機械式駐車装置(10台以上収容の場合)に、移動式消火器(屋外設置はSUS製BOX、指定色焼付仕上げ)を設置する。 ○パッケージ型消火設備埋込型を設置する。
○配管材料 (凡例による)	(1)消雪管 ○ 配管用炭素鋼管(白) ○ 図示による
○弁・継手類	(1)弁類の耐圧(○ 5K ○ 10K) ○ 図示による (2)50A以下の弁類 ○ ステンレス鋼弁 ○ 青銅弁 (3)65A以上の弁類 ○ステンレス鋼弁 ○ライニング弁 ○アルミバタフライ弁
○システム	○ 図示による
○その他	○ 図示による
○配管材料 (凡例による)	(1)冷却水管 ○ 配管用炭素鋼管(白) ○
○弁・継手類	(1)弁類の耐圧(○ 5K ○ 10K) (2)50A以下の弁類 ○ ステンレス鋼弁 ○ 青銅弁 (3)65A以上の弁類 ○ ステンレス鋼弁 ○ライニング弁 ○ 錆鉄弁

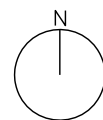


本計画建物

敷地案内図 1/2000

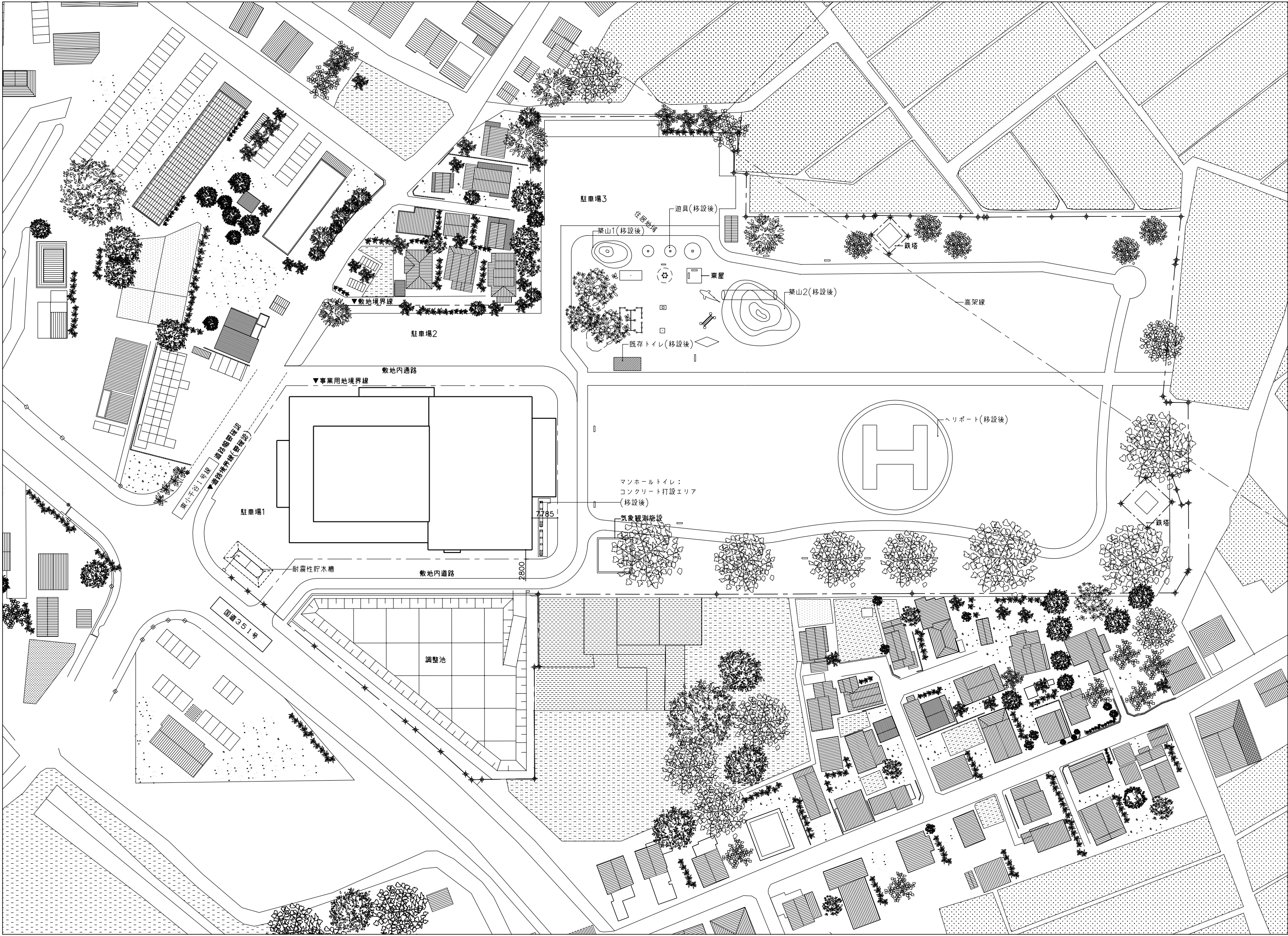


国土地理院地図
<https://maps.gsi.go.jp/#15/37.303931/138.810491/&base=std&l=s=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>
 を基に 株式会社 明野設備研究所 作成



敷地案内図 S=NON

新潟県小千谷市大字ひ生丙299番地1



共通事項	建築	電気	EV	機械 空調	外構 衛生	別途	備考
1 警報コンタクト網(盗、爆、震)の貫通スリーブ、または配入孔		○	○	○			
2 無上鉄筋補強	○						
3 無上鉄筋補強穴内の補強				○	○		
4 ガタ・凹凸等の雨水流通経路	○						
5 CB・ALC・管定セメント管等の開口	○						ス・ベーパー・補強含む
6 CB・ALC・管定セメント管等の貫通部保護(包囲等)	○		○	○	○		
7 補強・覆傷保護のための床・窓枠等							
8 無上保護層(土壌層などの自然面)		○	○	○	○		仕上具
9 無上保護層(土壌層などの自然面)		○	○	○	○		
10 雨水配管の接続のコンクリート処理	○						構造躯体と一体化のもの
11 無上保護型覆のアンカーおよび補強		○		○	○		
12 シンダーコンクリート(補強層がケト・2)	○						
13 躯体ダクト内仕上・塗装	○						
14 躯体水廻りおよび防水	○						塗装水・防水・通水
15 無上マニホ・「排水」・「給水」・「給湯」・「給気」							化粧面・ラワンを含む
16 無上内装仕上・通気管・通気管・人通り	○						
17 グリーンラフ				○			
18 フロアレジ・メー・フローレン	○						
19 地下排水ポンプおよび排水・排水水等(み上げポンプ)							
20 建物が接する部分の壁面内保護	○						
21 外壁貫通スリーブの防水処理	○						
22 壁・天井の断熱断熱敷け及び防水補強および下地処理	○						外壁を含む
23 無上断熱断熱敷け		○	○	○	○		外壁を含む
24 無上断熱断熱敷け付アンカー(ボルト、金具類の取り付け)		○	○	○	○		
25 壁・天井・地下の仕上および補強	○						
26 床、壁、天井の自然面	○						化粧面を含む
27 無上保護層、無上層	○						
28 管等保護層内の排水層	○						
29 無上保護層、無上層	○						
30 外構の排水層および排水網(透水管および透水管を含む)						○	
31 無上保護層、無上層	○						
32 外構の雨水透水管および透水管						○	
33 外構の雨水透水管および透水管						○	
34 配管経路の保護層および防水層				○			
35 外壁面の各部分(外)	○				○		
36 外壁面の各部分(内)	○						
37 外壁面の各部分(外)	○						
38 外壁面の各部分(内)	○						
39 外壁面の各部分(外)	○						
40 外壁面の各部分(内)	○						
41 外壁面の各部分(外)	○						
42 外壁面の各部分(内)	○						
43 外壁面の各部分(外)	○						
44 外壁面の各部分(内)	○						
45 外壁面の各部分(外)	○						
46 外壁面の各部分(内)	○						
47 外壁面の各部分(外)	○						
48 外壁面の各部分(内)	○						
49 外壁面の各部分(外)	○						
50 外壁面の各部分(内)	○						
51 外壁面の各部分(外)	○						
52 外壁面の各部分(内)	○						
53 外壁面の各部分(外)	○						
54 外壁面の各部分(内)	○						
55 外壁面の各部分(外)	○						
56 外壁面の各部分(内)	○						
57 外壁面の各部分(外)	○						
58 外壁面の各部分(内)	○						
59 外壁面の各部分(外)	○						
60 外壁面の各部分(内)	○						
61 外壁面の各部分(外)	○						
62 外壁面の各部分(内)	○						
63 外壁面の各部分(外)	○						
64 外壁面の各部分(内)	○						
65 外壁面の各部分(外)	○						
66 外壁面の各部分(内)	○						
67 外壁面の各部分(外)	○						
68 外壁面の各部分(内)	○						
69 外壁面の各部分(外)	○						
70 外壁面の各部分(内)	○						
71 外壁面の各部分(外)	○						
72 外壁面の各部分(内)	○						
73 外壁面の各部分(外)	○						
74 外壁面の各部分(内)	○						
75 外壁面の各部分(外)	○						
76 外壁面の各部分(内)	○						
77 外壁面の各部分(外)	○						
78 外壁面の各部分(内)	○						
79 外壁面の各部分(外)	○						
80 外壁面の各部分(内)	○						
81 外壁面の各部分(外)	○						
82 外壁面の各部分(内)	○						
83 外壁面の各部分(外)	○						
84 外壁面の各部分(内)	○						
85 外壁面の各部分(外)	○						
86 外壁面の各部分(内)	○						
87 外壁面の各部分(外)	○						
88 外壁面の各部分(内)	○						
89 外壁面の各部分(外)	○						
90 外壁面の各部分(内)	○						
91 外壁面の各部分(外)	○						
92 外壁面の各部分(内)	○						
93 外壁面の各部分(外)	○						
94 外壁面の各部分(内)	○						
95 外壁面の各部分(外)	○						
96 外壁面の各部分(内)	○						
97 外壁面の各部分(外)	○						
98 外壁面の各部分(内)	○						
99 外壁面の各部分(外)	○						
100 外壁面の各部分(内)	○						
101 外壁面の各部分(外)	○						
102 外壁面の各部分(内)	○						
103 外壁面の各部分(外)	○						
104 外壁面の各部分(内)	○						
105 外壁面の各部分(外)	○						
106 外壁面の各部分(内)	○						
107 外壁面の各部分(外)	○						
108 外壁面の各部分(内)	○						
109 外壁面の各部分(外)	○						
110 外壁面の各部分(内)	○						
111 外壁面の各部分(外)	○						
112 外壁面の各部分(内)	○						
113 外壁面の各部分(外)	○						
114 外壁面の各部分(内)	○						
115 外壁面の各部分(外)	○						
116 外壁面の各部分(内)	○						
117 外壁面の各部分(外)	○						
118 外壁面の各部分(内)	○						
119 外壁面の各部分(外)	○						
120 外壁面の各部分(内)	○						
121 外壁面の各部分(外)	○						
122 外壁面の各部分(内)	○						
123 外壁面の各部分(外)	○						
124 外壁面の各部分(内)	○						
125 外壁面の各部分(外)	○						
126 外壁面の各部分(内)	○						
127 外壁面の各部分(外)	○						
128 外壁面の各部分(内)	○						
129 外壁面の各部分(外)	○						
130 外壁面の各部分(内)	○						
131 外壁面の各部分(外)	○						
132 外壁面の各部分(内)	○						
133 外壁面の各部分(外)	○						
134 外壁面の各部分(内)	○						
135 外壁面の各部分(外)	○						
136 外壁面の各部分(内)	○						
137 外壁面の各部分(外)	○						
138 外壁面の各部分(内)	○						
139 外壁面の各部分(外)	○						
140 外壁面の各部分(内)	○						
141 外壁面の各部分(外)	○						
142 外壁面の各部分(内)	○						
143 外壁面の各部分(外)	○						
144 外壁面の各部分(内)	○						
145 外壁面の各部分(外)	○						
146 外壁面の各部分(内)	○						
147 外壁面の各部分(外)	○						
148 外壁面の各部分(内)	○						
149 外壁面の各部分(外)	○						
150 外壁面の各部分(内)	○						
151 外壁面の各部分(外)	○						
152 外壁面の各部分(内)	○						
153 外壁面の各部分(外)	○						
154 外壁面の各部分(内)	○						
155 外壁面の各部分(外)	○						
156 外壁面の各部分(内)	○						
157 外壁面の各部分(外)	○						
158 外壁面の各部分(内)	○						
159 外壁面の各部分(外)	○						
160 外壁面の各部分(内)	○						
161 外壁面の各部分(外)	○						
162 外壁面の各部分(内)	○						
163 外壁面の各部分(外)	○						
164 外壁面の各部分(内)	○						
165 外壁面の各部分(外)	○						
166 外壁面の各部分(内)	○						
167 外壁面の各部分(外)	○						
168 外壁面の各部分(内)	○						
169 外壁面の各部分(外)	○						
170 外壁面の各部分(内)	○						
171 外壁面の各部分(外)	○						
172 外壁面の各部分(内)	○						
173 外壁面の各部分(外)	○						
174 外壁面の各部分(内)	○						
175 外壁面の各部分(外)	○						
176 外壁面の各部分(内)	○						
177 外壁面の各部分(外)	○						
178 外壁面の各部分(内)	○						
179 外壁面の各部分(外)	○						
180 外壁面の各部分(内)	○						
181 外壁面の各部分(外)	○						
182 外壁面の各部分(内)	○						
183 外壁面の各部分(外)	○						
184 外壁面の各部分(内)	○						
185 外壁面の各部分(外)	○						
186 外壁面の各部分(内)	○						
187 外壁面の各部分(外)	○						
188 外壁面の各部分(内)	○						
189 外壁面の各部分(外)	○						
190 外壁面の各部分(内)	○						
191 外壁面の各部分(外)	○						
192 外壁面の各部分(内)	○						
193 外壁面の各部分(外)	○						
194 外壁面の各部分(内)	○						
195 外壁面の各部分(外)	○						
196 外壁面の各部分(内)	○						
197 外壁面の各部分(外)	○						
198 外壁面の各部分(内)	○						
199 外壁面の各部分(外)	○						
200 外壁面の各部分(内)	○						
201 外壁面の各部分(外)	○						
202 外壁面の各部分(内)	○						
203 外壁面の各部分(外)	○						
204 外壁面の各部分(内)	○						
205 外壁面の各部分(外)	○						
206 外壁面の各部分(内)	○						
207 外壁面の各部分(外)	○						
208 外壁面の各部分(内)	○						
209 外壁面の各部分(外)	○						
210 外壁面の各部分(内)	○						
211 外壁面の各部分(外)	○						
212 外壁面の各部分(内)	○						
213 外壁面の各部分(外)	○						
214 外壁面の各部分(内)	○						
215 外壁面の各部分(外)	○						
216 外壁面の各部分(内)	○						
217 外壁面の各部分(外)	○						
218 外壁面の各部分(内)	○						
219 外壁面の各部分(外)	○						
220 外壁面の各部分(内)	○						
221 外壁面の各部分(外)	○						
222 外壁面の各部分(内)	○						
223 外壁面の各部分(外)	○						
224 外壁面の各部分(内)	○						
225 外壁面の各部分(外)	○						
226 外壁面の各部分(内)	○						
227 外壁面の各部分(外)	○						
228 外壁面の各部分(内)	○						
229 外壁面の各部分(外)	○						
230 外壁面の各部分(内)	○						
231 外壁面の各部分(外)	○						
232 外壁面の各部分(内)	○						
233 外壁面の各部分(外)	○						
234 外壁面の各部分(内)	○						
235 外壁面の各部分(外)	○						
236 外壁面の各部分(内)	○						
237 外壁面の各部分(外)	○						
238 外壁面の各部分(内)	○						
239 外壁面の各部分(外)	○						
240 外壁面の各部分(内)	○						
241 外壁面の各部分(外)	○						
242 外壁面の各部分(内)	○						
243 外壁面の各部分(外)	○						
244 外壁面の各部分(内)	○						

主要設備設置工事	建築	電気	EV	機械 空調	衛生	外構	別途	備考
1 防炎、シャッター、自動閉鎖装置の乗組員設備、感知器、防犯監視工事		○						
2 防上建物警報設備、感知器、配管設備工事		○						
3 火災通報システム、全館交通路付無煙区画システムとの連携確認		○						
4 各種警報および二次伝回確認工事		○						
5 火災防犯通報警報		○						
6 緊急および非常警報動工準備作業者の乗組		○						
7 緊急コンタクト（火、盗、暴、暴の直通スリッパ）または緊急連絡		○		○	○			
8 緊急コンタクト（火、盗、暴、暴の直通スリッパ）緊急連絡設備の穴の開け		○						
9 CIBACON（警報）システムなどの直通警報設備の組み立て				○	○			
10 緊急警報の機能のテストおよび確認		○		○	○			
11 緊急警報機能のテスト（火災、盗、暴、暴の直通スリッパ）	○	○		○	○			
12 緊急直通スリッパの緊急伝達		○		○	○			
13 緊急直通スリッパの緊急伝達確認				○	○			作業を委託
14 緊急直通スリッパの緊急伝達確認（火災、盗、暴、暴の直通スリッパ）				○	○			
15 自動警報機電気設備		○						
16 緊急直通スリッパの緊急伝達確認		○						
17 防犯システム（防犯システム、警報機、防犯監視工事）		○						
18 防犯システム（防犯システム、警報機、防犯監視工事）の設置確認		○						
19 アラーム・システムなどの設置		○						
20 各警報機内の警報機の状態および確認	○	○	○	○	○			
21 コンセント配線より各警報機までの伝達線および確認		○	○					
22 各警報機および警報機までの伝達線の状態および確認		○						
23 ノーミー・システム		○						
24 火災感知、防犯警、火警報		○						以降設備設置確認員
25 防、通報感知および通報伝達までの伝達線確認工事								
26 通報感知および通報伝達までの伝達線確認工事								
27 自動警報機設置		○						
28 防犯監視設備		○						
29 緊急警報機		○						
30 連絡伝達口、システムの状態		○		○				
31 防犯感知		○						
32 防犯感知、通報警、伝達口		○						
33 燃料小出量		○						
34 燃料二次配管設備		○						
35 オイルタンク防犯設備		○						
36 消防用、非常警報機を設置、感知機		○						
37 防炎、シャッターの設置、自動閉鎖装置の取り付け		○						
38 シャッター降下時の警報システム		○						
39 防炎、シャッターの設置		○						

亮電機関連事項		建築	電気	EV	機械 空調/衛生	外構	別途	備考
1	防音壁止		○					
2	給排水、通気管、配線口		○					
3	燃料小部屋		○					
4	燃料管立ち上げ配管		○					
5	オイルタンク電気配線		○					
6	燃費計及び温度		○					
7	燃費計設置		○					

弱電関連事項							
1	電話・インターネット回線工事 (設置込み)		○				
2	電話・およびLAN配線管・継手等		○				
3	電話用配線箱		○				
4	LAN配線箱		○				
5	LAN・電話用		内包				ビル内スキャン
6	サーバー・LAN 用スキャンアダプタ・専用LAN機器		○				ハブ等機器
7	テレビアンテナ		○				
8	ジブアーチ動滑車					○	仕掛機に配線あり
9	無線LAN受信センサー(2)および配線					○	
10	熱点配管		○				
11	無線LAN受信機設置					○	
12	無線LANシステム構築						○ 仕掛機に配線あり
13	府内ネットワーク					○	

業務内容（空調、衛生）異動後 異動事項	建築	電気	EV	機械 空調	衛生	外構	別途	備考
1 建物外壁のひびのウェザースコーン				○				
2 換気扇の取り付け				○				
3 汚水渠・排水立管の内外重要の配管					○			
4 窓の付け直し、ガス給・熱湯給	○							
5 床直差し網の配管接合部および排水金物					○			
6 シェアユニットの配管、配管接続	○				○			配管接続は衛生
7 排煙ダンパー等自動閉鎖装置				○				
8 煙道自動制御装置取付工事								
9 養生上縁およびスリット				○				
10 セミロープレエモン・網の室内内通気管工事				○				
11 湯沸湯作を行うファンクションユニット網の取り換えとスリット				○				
12 換気扇のファンが空回り状態に出口				○				
13 ダクトおよびガス配・配管と換気工事製作機組の取組				○	○			
14 衛生器具、シェアユニット、配管、配管接続	○				○			シェアユニットは建築
15 換気ファンファン型（保、保、望）の換気スリット、または 取入れ		○	○	○	○			
16 換気ファン（保、保、望）の換気スリット取入れ補強 穴の補修		○	○	○	○			
17 CSMALCの中空セメント板等の貫通補修等・埋め直し				○	○	○		
18 排気配管の換気ファン網および補修				○	○	○		
19 換気・電気機器取付（小規模なものが自立型）								
20 地下湯水パイプおよび汚水・排水金物（およびパイプ）		○	○	○	○			
21 汚水排水スリットの排水処理		○	○	○	○			
22 換気扇					○			
23 換気扇付					○			
24 エレベーター工事		○						
25 窓・天井の取付・換気取付取付				○	○			外壁を含む
26 窓・天井の取付・換気取付取付（天井・バルコニー、食器洗いの付 け）				○	○			
27 換気扇の取付等および取付取付								
28 化粧用特等付、化粧用取付、取付取付		○						方角は建築
29 天井取付ファンユニット、金具交換換気扇取付取付					○			
30 煙道自動制御装置取付工事								
31 排気ダンパー、排煙ダンパーの取付、自動閉鎖装置製作								
32 小規模排水立管の取付・換気扇の取付					○			
33 化粧用特等付、化粧用取付、取付取付					○			
34 マンホール・ハンドカーの取付		○		○	○			
35 換気扇の取付等および二次配管取付取付		○		○	○			
36 倉庫内蔵の排気扇の取付および取付		○	○	○	○			
37 シンセト換気扇子および各種取付の取付取付および取付		○	○	○	○			
38 排煙ダンパー・換気扇、換気扇（自動閉鎖）				○				自動閉鎖装置
39 汚水					○			
40 汚水取付の電気配管等穴あけ補修								
41 バッテリー、ボックス・ボックスの点検		○						
42 汚水・排水立管の取付、取付、内外排水上、マンホ ル、トラップの取付								
43 換気扇取付および 取付・取付・取付・取付		○		○				取付・取付・取付・取付
44 換気扇取付取付				○				
45 換気扇取付取付				○				

水まわり関連		建築	電気	EV	環境 空間 衛生	外構	別途	備考
1	キッチン・洗面・トイレ取付	○			○	○		トイレは建築、トイレは空調
2	暖房器具および暖房工の要、有	○				○		暖房器具は衛生
3	床に台等の配管・ベント取付工事	○	○					
4	化粧箱、窓下箱、その他		○	○				
5	電線・通信ケーブル、設置		○			○		
6	地上・一時敷電気配管・配線							
7	郵便受箱						○	
8	ボイラ、可燃ボイラ	○						
9	ペーパーストア・ペーパースト	○						
10	ボイラ・暖房器具および取付					○		
11	洗面台・カウンター	○						洗面ボウルは衛生
12	地上・線系・線道、排水管の接続		○			○		
13	地上・一時敷電気配管・配線							
14	床板	○	○			○		床板・床板は建築
15	窓枠・窓取付、基礎・基礎、基礎・基礎	○	○			○		基礎は建築

防災関連事項	建築	電気	EV	機械 空調 衛生	外構	別途	備考
1 火災警報、防煙、全警報		○					以附記等記録簿録録成
2 自然保護室並みより防犯設置		○					二次防犯監視記録
3 防犯署(防犯捜査)		○					
4 防犯監視カメラおよび防犯捜査の連絡設置、手動通報(作動装置)		○					
5 防犯、防犯監視および連絡設置までの防犯記録工事		○					
6 防犯監視および連絡設置までの防犯記録工事		○					
7 地上自然保護室並みより防犯記録開口および補給		○					
8 防犯監視設置		○					
9 防犯監視センターの地下設置		○					
10 地上二次防犯監視設置		○					
11 防犯監視センターの地下設置		○					
12 地上二次防犯監視設置		○					
13 防犯監視センター、連絡装置(作動装置)		○	○				自然保護室並み
14 防犯監視設置		○					
15 防火性				○			
16 防火性の耐火性能(耐火性能)				○			
17 耐火性能							
18 耐火性能							
19 耐火性能							
20 耐火性能							
21 耐火性能							
22 耐火性能							

地震動体験教室	建築	電気	EV	接続 空間/衛生	外構	別途	備考
1 地震どくどく						○	以下清くすべて体験あり
2 MIX4D (地震動体験装置)						○	
3 スカパーン(地震動体験装置)						○	
4 外気圧シムルミ天空プラザ(地震動体験装置)				○			
5 橋下町歴史(地震動体験装置)		○					
6 飲食街のあふれ(地震動体験装置)		○					
7 出入り口の音響品(地震動体験装置)		○					
8 プロジェクター(地震動体験装置)							
9 出入り口の音響品(地震動体験装置)		○					
10 緑化庭園(地震動体験装置)				○			
11 計測器		○					
12 駅前広場		○					
13 二次創成室						○	

昇降機関連事項	建築	電気	EV	機械 空調/衛生	外構	別途	備考
1 エレベーター>乗降案内、エレベーター支持柱等		○	○				各階各出口付近に設置
2 ドア数値受入装置取付等		○					保冷ドア、防犯工事等
3 昇降機天井ファンダクトはリレー>エレベーター工事		○					
4 乗降階段乗客付合の出入口ホールの壁および柱上り工事		○					
5 エレベーター>監視装置			○				インターホン含む
6 既設階段監視		○					
7 エレベーター>監視装置設置ベース							
8 エレベーター>バック照光							
9 乗降階段乗客付合階段付の監視工事		○					
10 エレベーター>バックホリコンセント			○				
11 エレベーター>ご内装監視装置			○				
12 エレベーター>インターホン							
13 既設監視装置		○					
14 エレベーター>監視装置設置		○					
15 エレベーター>内装監視装置			○				
16 エレベーター>監視装置までの放送用配管取付			○				
17 各階乗降出入口ホールの穴あけ工事							
18 エレベーター>バック照光		○					
19 遠隔監視用システム監視用>監視装置工事			○				
20 昇降機内送付の遠隔監視装置工事			○				
21 エレベーター>防炎シャッター等の遠隔監視カメラ等の取付と網の付与工事			○				
22 エレベーター>バック照光用ケーブル			○				

敷地外接続工事・その他		建築	電気	EV	環境 空調	衛生	外構	別途	備考
1	敷地外接続工事 電気						○		
2	敷地外接続工事 電気						○		
3	敷地外接続工事 暖水						○		
4	敷地外接続工事 排水						○		
5	敷地外接続工事 ガス						○		
6	建築物計装しまでの電気料金割合		○	○	○	○			工事費別電算
7	建築物計装しまでの電気設備保料金		○	○	○	○			工事費別電算
8	建築物計装しまでの上下水道料金		○	○	○	○			
9	建築物計装しまでのガス料金		○	○	○	○			

凡 例

採用	記 号	名 称		材 質	備 考	
	共通					
○		仕切弁 (BAV)、バタ弁 (65A以上)			J I S O . 9 8 M P a	
○		逆止弁			J I S O . 9 8 M P a	
○		防振継手				
○		可とう継手				
○		Y形ストレーナ				
		伸縮継手 (複式)				
		伸縮継手 (単式)				
		二方弁装置				
		三方弁装置				
○		電磁弁装置				
		減圧弁装置				
○		防火区画貫通部			要領図参照のこと。	
	衛生設備					
		給水管 (上水)	床上コリガシ	ポリブテン管	先分岐工法もしくはヘッダー工法	
			一般	ポリエチレン管		
			ピット・埋設	ポリエチレン管		
			屋外露出	ポリエチレン管		保温・ラッキング (ガルバ)
				ステンレス鋼鋼管		
		給湯管		ステンレス鋼鋼管		
		給湯管 (返)		ポリブテン管		
		給湯管 (ベアチューブ)		ポリブテン管		
		排水管	一般	耐火二層管 (認定品)	給湯があるものに限る。	
				硬質塩化ビニル管		
			シンク等	耐熱性塩化ビニル管		
			ピット・埋設	硬質塩化ビニル管		
			屋外露出	耐火二層管 (認定品)		
	通気管		ピット	硬質塩化ビニル管		
			上記以外	耐火二層管 (認定品)		
		排水管		耐衝撃性塩化ビニル管	ポンプアップ系統	
		ガス管 (低圧)		都市ガス指定品		
		ガス管 (中圧)		都市ガス指定品		
		消火管				
		連結送水管				
		連結散水管				
		スプリンクラー配管				
		ルーフドレン管			建築工事	
		雨水浸透管				
		送水口				
		テスト弁				
		連結送水放水口				
		屋内消火栓 火報組込				
		補助散水栓 火報組込				
		ガスコック		都市ガス指定品		
		量水器				
		ガスメータ				
		ため樹				
		汚水樹、小口径塩化樹				
		トラップ樹				
		格子樹				
		雨水浸透樹				
		検査系排水樹				
		地中埋設標				
		水栓 (水、湯)			屋外は寒冷地仕様とする。	
		クラッシュ弁				
		湯水混合水栓			シングルレバーに限る。	
		シャワー金具			サーモスタット付とする。	
		床排水金物 (T3A、B)				
		床上掃除口 (COA、B)			ビニシート部はカバー付とする。	
		排水用トラップ				
		間接排水口			室内機ドレンはトラップを設置する。	
		散水栓 SUS箱共				
		仕切弁、弁籠共				
		吸排気弁				
		定水位弁				
		ボールタップ				

採用	配 号	名 称		材 質	備 考
	空気設備				
○	—— SA ——	給気ダクト		亜鉛鉄板	
	—— RA ——	還気ダクト		保温付フレキダクト	機器接続部分※1.5m以下
	—— OA ——	外気取入ダクト			
	—— EA ——	排気ダクト			
○	—— $A \times B$ ——	矩形ダクト			
○	—— $A \phi$ ——	丸ダクト (スパイラルダクト)			
	—— SM ——	排煙ダクト		亜鉛鉄板、高圧ダクト	
	鉛巻きダクト	鉛シート0.5t巻き			放射線シールド部貫通の遮蔽処理
	—— CE A ——	ド raftチャンパー	酸・塩素系	塩ビライニング鋼板	
		排気ダクト	耐有機溶剤	ステンレス製	
	EA	排気ダクト (コンロ用)		亜鉛鉄板	RW50巻き または 消防性能評定品
○	—— KE A ——	厨房用排気ダクト		ステンレス製	RW50巻き または 消防性能評定品
○	—— \varnothing FD ——	防火ダンパー			t=1.5mm以上
	—— \varnothing VD ——	風量調整ダンパー			
○	—— \varnothing CD ——	逆流防止ダンパー			
	—— \varnothing MD ——	モーターダンパー			
	—— \varnothing PD ——	ピストンダンパー			
	—— \varnothing SFD ——	防煙防火ダンパー			t=1.5mm以上
○		吹出口			指定色、結露防止形
○		吸込口			指定色、結露防止形
		排煙口			手動開放装置付
○		ベンドキャップ		ステンレス製	耐風型、防虫網付、指定色
○		保温付可とうダクト (1.5mまで)		不燃材料 (空調用は断熱材付)	機器・制気口接続部に敷ける。
		消音エルボ			GW25、50 内貼り
○		消音ボックス、チャンパーボックス			GW25、50 内貼り
○		アンダーカット・ガラリ			建築工事
		風量測定口			亜鉛合金
		ダクト用点検口 (エアータイト形)			450×450
	GAV	可変風量装置			
	VAV	定風量装置			
	—— CS ——	冷水管 (往)			
	—— CR ——	冷水管 (返)			
	—— H ——	温水管 (往)			
	—— HR ——	温水管 (返)			
	—— CHS ——	冷温水管 (往)			
	—— CHR ——	冷温水管 (返)			
	—— CDS ——	冷却水管 (往)			
	—— CDR ——	冷却水管 (返)			
	—— E ——	膨張管			
	—— CHFS ——	冷温水管 (往)			床空調系統
	—— CHFR ——	冷温水管 (返)			床空調系統
	—— RG ——	冷媒ガス管			水蓄熱系統
	—— RL ——	冷媒液管			水蓄熱系統
	—— O ——	油管 (往)			
	—— OR ——	油管 (返)			
	—— OV ——	油通気管			
	—— SS ——	蒸気管 (往)			
	—— SR ——	蒸気管 (返)			
○	—— R ——	冷媒管 (往、返共)		冷媒用被覆銅管	又は、メーカー規格
○	—— D ——	ドレン管		保温付VP	
	—— W ——	加湿用補給水		水道用ステンレス銅々管	

1. 防火ダンパーは、建設省告示 第2565号 (平成12年改正) の適合品とする。

2. 厨房設備に附属する排気ダクト外の火災伝送防止装置として敷ける防火ダンパーは、所轄消防の火災予防条例に適合すること。

3. 厨房用排気ダクトは、所轄消防の火災予防条例に適合すること。
4. 屋外露出のステンレスダクト及びステンスラッキングは、つや消しとする。

5. 配管、ダクトには、系統名・配管種類・サイズ・矢印を表配する。

要領図

ダクトの防火区画貫通部施工要領 S=N. S

不燃材料の風道が、「建築基準法施行令第112条第21項」に規定する防火区画を貫通する場合

(a) 矩形ダクト

(b) 丸ダクト

形鋼（短管の両側に溶接）
防火ダンパー
本体より支持
溶接
平鋼（短管に溶接）
溶接

1.5mm以上の鉄板又は鉄網モルタル等で被覆した短管を設ける。

イ. 矩形の防火ダンパーは、4本吊りとする。但し、長辺が300mm以下の場合は2本吊りとする。
ハ. 丸形の防火ダンパーは、4本吊りとする。但し、内径が300mm以下の場合は2本吊りとする。
※. 上記内容によらない場合は国土交通大臣認定品を使用すること。

排風機（シロッコファン）要領図 S=N. S

※VDの設置箇所には点検口450×450（建築工事）を設けること。

給器具の吐水口空間要領図 S=N. S

呼び径が25mm以下の場合

呼び径の区分	近接壁から吐水口の中心までの水平距離 B	越流面から吐水口の最下端までの垂直距離 A
13mm以下	25mm以上	25mm以上
13mmを超え20mm以下	40mm以上	40mm以上
20mmを超え25mm以下	50mm以上	50mm以上

呼び径が25mmを超える場合

区 分		壁からの離れ B	越流面から吐水口の最下端までの垂直距離 A
近接壁の影響が無い場合			1.7d' + 5mm以上
近接壁の影響がある場合	近接壁1面の場合	3d以下 3dを超え5d以下 5dを超えるもの	3.0d' 以上 2.0d' + 5mm以上 1.7d' + 5mm以上
	近接壁2面の場合	4d以下 4dを超え6d以下 6dを超え7d以下 7dを超えるもの	3.5d' 以上 3.0d' 以上 2.0d' + 5mm以上 1.7d' + 5mm以上

① 吐水口の内径d
② こま押さえ部分の内径
③ 給水栓の接続管の内径
以上3つの内径のうち、最小内径を有効開口の内径d' として表す。

電気温水器（床置据付型）廻り要領 S=N. S

※破線表記は流し台（建築工事）とする。

排水トラップ（建築工事）
排水トラップ（建築工事）
アングル止水栓（機器附属）
排水ホッパー（機器附属）

排水トラップ構造要領図 S=N. S

※二重トラップとならないように設けること。
※排水管内の臭気、衛生害虫等の移動を有効に防止することができる構造とすること。
※容易に掃除ができる構造とすること。

配管の防火区画貫通部施工要領（1） S=N. S

不燃材料の配管が、「建築基準法施行令第112条第20項」に規定する防火区画を貫通する場合

(a) 貫通部において保温が必要な配管

(b) 貫通部において保温が必要ない配管

保温材
ロックウール保温材又はモルタルを充填
不燃材料の配管
ロックウール保温材

約50 約50

注）イ. 不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする。
ロ. 貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱落防止措置を施す。
ハ. 不燃材料以外のスリーブ材（紙製仮枠等）を使用した場合は、配管前に必ず取り除く。

配管の防火区画貫通部施工要領（2） S=N. S

不燃材料以外の配管が、「建築基準法施行令第112条第20項」に規定する防火区画を貫通する場合

不燃材料以外
（冷媒管・さや管・ケーブル等）

40以上 100以上

注）イ. 建築基準法令において1時間耐火性能満たし、国土交通大臣認定材料を使用すること。
ロ. 貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱落防止措置を施す。
ハ. 不燃材料以外のスリーブ材（紙製仮枠等）を使用した場合は、配管前に必ず取り除く。

ACPリモコン渡り配線要領図 S=N. S

ACP（屋外機）
ACP（室内機）
裏BOX（本工事）
リモコン（機器付属品）
取付高：FL+1,500

＜配線仕様＞
室内機～リモコン：EM-CEES1.25-2C（PF22／コロガシ）
室外機～室内機：VVF2.0mm-3C（冷媒管共巻）
※コントロールスイッチ本体・制御配線・制御管路は本工事とする。
※室外機から室内機までの配線は冷媒共巻きとする。

CF-1～3 リモコン渡り配線要領図 S=N. S

CF-1～3
裏BOX（別途電気設備工事）
リモコン（機器付属品）
取付高：FL+1,500

＜配線仕様＞
屋内露出：VVF1.6-4C×1（E25）
※制御配線は全て本工事とする。
※制御配管はリモコン裏BOXを含め別途電気設備工事とする。

土間配管支持要領図 S=N. S

150mm程度折曲げる
▽1FL
13～16φ SUS製棒鋼

※配管廻りは土中配管と同仕様とする。

建物導入部の変位吸収配管要領図 S=N. S

外壁貫通部固定
（平面）
外壁貫通部固定
（立面）

※スリークッションによる導入とする。

DESリモコン渡り配線要領図 S=N. S

DES
壁内配管PF16（本工事）
裏BOX（本工事）
HC（機器付属品）
取付高：FL+1,500

＜配線仕様＞
天井内：EM-CEES1.25-2C×1（天井内コロガシ）
壁内：EM-CEES1.25-2C×1（PF16）
※コントロールスイッチ本体・制御配線・制御管路は本工事とする。

冷媒管等の防火区画貫通処理要領 S=N. S

耐火キャップ金具（底板支持金具）
耐火キャップ金具（蓋金具）
熱膨張性耐熱シール材
熱膨張性耐熱シール材

国土交通大臣認定番号（参考）：PS060WL-0025、0027
PS060FL-0024、0026、0613
※. 防火区画を貫通する配管・配線等は全て防火区画処理を施すこと。

記号	機器名称	仕様	電源				台数	設置場所	備考
			指定圧		Kw	始動			
			φ	V					
ACP-1	空冷HPマルチエアコン	〈室外機〉 型式 : 冷暖房切替運転 呼称 : 16.0 HP 冷房能力 : 45.0 Kw 暖房能力 : 50.0 Kw 圧縮機 : 送風機 : 騒音値 : 86 dB(A) 附属品 : スプリング防振	3	200	13.6 15.1 13.7 0.66 × 2	INV INV INV INV	1	2F 設備バルコニー3	(参考型番) RXYP450FC コンクリート基礎(建築工事)
ACP-1-1 (研修室系統)	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形 冷房能力 : 16.0 Kw 暖房能力 : 18.0 Kw 送風機 : 2,760 m3/h 騒音値 : 74 dB(A) 附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンパー、EAチャンパー、 リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物	1	200	0.401 0.375 0.35		1	1F トイレ1	(参考型番) FXYP160EB
ACP-1-2 (研修室ポケット系統)	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形 冷房能力 : 5.6 Kw 暖房能力 : 6.3 Kw 送風機 : 960 m3/h 騒音値 : 65 dB(A) 附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンパー、EAチャンパー、 リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物	1	200	0.148 0.136 0.14		1	1F トイレ1	(参考型番) FXYP56EB
ACP-1-3 (エントランスポケット系統)	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形 冷房能力 : 14.0 Kw 暖房能力 : 16.0 Kw 送風機 : 2,340 m3/h 騒音値 : 72 dB(A) 附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンパー、EAチャンパー、 リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物	1	200	0.281 0.269 0.35		1	1F 管理事務室	(参考型番) FXYP140EB
ACP-2	空冷HPマルチエアコン	〈室外機〉 型式 : 冷暖房切替運転 呼称 : 30.0 HP 冷房能力 : 85.0 Kw 暖房能力 : 95.0 Kw 圧縮機 : 送風機 : 騒音値 : 89 dB(A) 附属品 : スプリング防振	3	200	25.0 28.7 (13.7 × 1)×(12.3 × 1) (0.66 × 2)×(0.42 × 2)	INV INV INV INV	1	2F 設備バルコニー2	(参考型番) RXYP650FC コンクリート基礎(建築工事)
ACP-2-1 (多目的ホール系統)	〃	〈室内機〉 型式 : 天井カセット4方向形 冷房能力 : 7.1 Kw 暖房能力 : 8.0 Kw 送風機 : 1,200 m3/h 騒音値 : 53 dB(A) 附属品 : ロングライフフィルター、リモコン(ワイヤード)、 ドレンアップメカ、防振吊金物	1	200	0.072 0.068 0.053		8	1F 多目的ホール	(参考型番) FXYP71NB
ACP-2-2 (多目的ポケット系統)	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形 冷房能力 : 5.6 Kw 暖房能力 : 6.3 Kw 送風機 : 960 m3/h 騒音値 : 65 dB(A) 附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンパー、EAチャンパー、 リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物	1	200	0.148 0.136 0.14		1	1F トイレ1	(参考型番) FXYP56EB
ACP-2-3 (搬出入ポケット系統)	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形 冷房能力 : 5.6 Kw 暖房能力 : 6.3 Kw 送風機 : 960 m3/h 騒音値 : 65 dB(A) 附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンパー、EAチャンパー、 リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物	1	200	0.148 0.136 0.14		1	1F 収納庫4	(参考型番) FXYP56EB
ACP-3	空冷HPマルチエアコン	〈室外機〉 型式 : 冷暖房切替運転 呼称 : 26.0 HP 冷房能力 : 73.0 Kw 暖房能力 : 82.5 Kw 圧縮機 : 送風機 : 騒音値 : 88 dB(A) 附属品 : スプリング防振	3	200	22.7 25.4 (14.5 × 1)×(11.5 × 1) (0.66 × 2)×(0.61 × 1)	INV INV INV INV	1	2F 設備バルコニー3	(参考型番) RXYP730FC コンクリート基礎(建築工事)
ACP-3-1 (地震動体験室1系統)	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形 冷房能力 : 16.0 Kw 暖房能力 : 18.0 Kw 送風機 : 2,340 m3/h 騒音値 : 74 dB(A) 附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンパー、EAチャンパー、 リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物	1	200	0.401 0.375 0.35		1	1F 操作室	(参考型番) FXYP160EB

記号	機器名称	仕様	電源				台数	設置場所	備考
			相電圧		Kw	始動			
			φ	V					
ACP-3-2	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形	1	200			1	2F	(参考型番)
(そなえ館ポケット系統)		冷房能力 : 11.2 Kw			0.212			トイレ2	FXYMP112EB
		暖房能力 : 12.5 Kw			0.200				
		送風機 : 1,920 m3/h			0.35				
		騒音値 : 71 dB(A)							
		附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンバー、EAチャンバー、							
		リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物							
ACP-3-3	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形	1	200			1	2F	(参考型番)
(展示室系統)		冷房能力 : 11.2 Kw			0.212			展示室	FXYMP112EB
		暖房能力 : 12.5 Kw			0.200				
		送風機 : 1,920 m3/h			0.35				
		騒音値 : 71 dB(A)							
		附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンバー、EAチャンバー、							
		リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物							
ACP-3-4	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形	1	200			1	1F	(参考型番)
(展示室ポケット系統)		冷房能力 : 16.0 Kw			0.401			展示室	FXYMP160EB
		暖房能力 : 18.0 Kw			0.375				
		送風機 : 2,760 m3/h			0.35				
		騒音値 : 74 dB(A)							
		附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンバー、EAチャンバー、							
		リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物							
ACP-4	空冷HPマルチエアコン	〈室外機〉 型式 : 冷暖房切替運転 呼称 : 26.0 HP	3	200			1	2F	(参考型番)
		冷房能力 : 61.5 Kw			21.8	INV		設備バルコニー2	RXYP615FC
		暖房能力 : 69.0 Kw			25.7	INV			コンクリート基礎(建築工事)
		圧縮機 :			19.7	INV			
		送風機 :			0.88×2	INV			
		騒音値 : 88 dB(A)							
		附属品 : スプリング防振							
ACP-4-1	〃	〈室内機〉 型式 : 床置ローボイ型(埋込タイプ)	1	200			6	2F	(参考型番)
(学習室系統)		冷房能力 : 7.1 Kw			0.163			学習室	FXYLMP71NB
		暖房能力 : 8.0 Kw			0.163				吹出ガラリ(建築工事)
		送風機 : 1,170 m3/h			0.085				
		騒音値 : 68 dB(A)							
		附属品 : ロングライフフィルター、リモコン(ワイヤード)							
ACP-4-2	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形	1	200			1	2F	(参考型番)
(学習室ポケット系統)		冷房能力 : 5.6 Kw			0.148			地震動体験室2	FXYMP56EB
		暖房能力 : 6.3 Kw			0.136				
		送風機 : 960 m3/h			0.14				
		騒音値 : 65 dB(A)							
		附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンバー、EAチャンバー、							
		リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物							
ACP-4-3	〃	〈室内機〉 型式 : 天井カセット4方向形	1	200			1	2F	(参考型番)
(地震動体験室2系統)		冷房能力 : 9.0 Kw			0.128			地震動体験室2	FXYFP90NB
		暖房能力 : 10.0 Kw			0.110				
		送風機 : 1,470 m3/h			0.053				
		騒音値 : 59 dB(A)							
		附属品 : ロングライフフィルター、リモコン(ワイヤード)、							
		ドレンアップメカ、防振吊金物							
ACP-5	空冷HPマルチエアコン	〈室外機〉 型式 : 冷暖房切替運転 呼称 : 24.0 HP	3	200			1	2F	(参考型番)
		冷房能力 : 67.0 Kw			19.8	INV		設備バルコニー1	RXYP670FC
		暖房能力 : 77.5 Kw			26.9	INV			コンクリート基礎(建築工事)
		圧縮機 :			(11.6×1)×2	INV			
		送風機 :			(1.03×1)×2	INV			
		騒音値 : 88 dB(A)							
		附属品 : スプリング防振							
ACP-5-1	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形	1	200			2	2F	(参考型番)
(会議室系統)		冷房能力 : 9.0 Kw			0.186			トイレ2	FXYMP90EB
		暖房能力 : 10.0 Kw			0.174				
		送風機 : 1,740 m3/h			0.35				
		騒音値 : 71 dB(A)							
		附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンバー、EAチャンバー、							
		リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物							
ACP-5-2	〃	〈室内機〉 型式 : 天井埋込ダクト形	1	200			1	2F	(参考型番)
(会議室ポケット系統)		冷房能力 : 9.0 Kw			0.186			会議室ポケット	FXYMP90EB
		暖房能力 : 10.0 Kw			0.174				
		送風機 : 1,740 m3/h			0.35				
		騒音値 : 71 dB(A)							
		附属品 : ロングライフフィルター、SAチャンバー、EAチャンバー、							
		リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物							

※ 冷房・暖房能力は、JIS B 8616の条件による能力及び冷媒管長さ等により、能力補正を行って決定された機器能力とする。

※ 高調波対策品とする。

※ 室外機には、フィンガード[®]及び排気フードを見込む事。

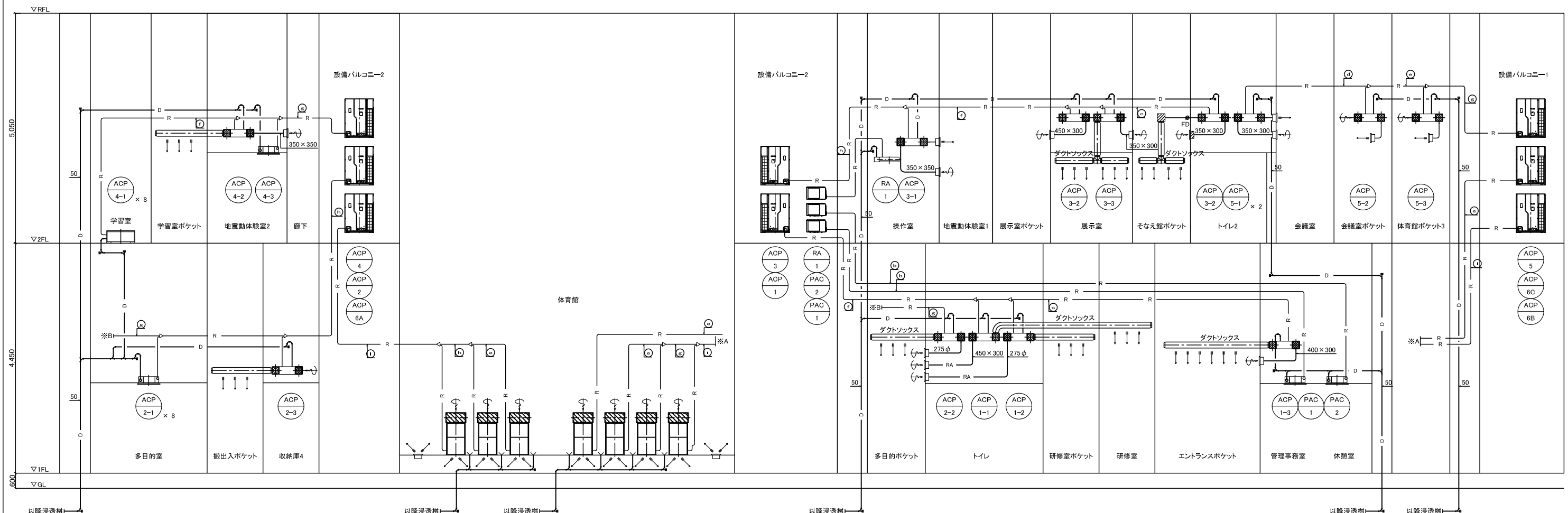
記号	機器名称	仕様		電源		台数	設置場所	備考
				相電圧	電圧			
				φ	V			
ACP-5-3 (体育館ボケット系統)	〃	〈室内機〉	型式 天井埋込ダクト形	1	200		1 2F	(参考型番)
			冷房能力： 22.4 Kw				体育館ボケット	FXYMP224MJ
			暖房能力： 25.0 Kw					
			送風機： 4,500 m3/h					
			騒音値： 76 dB(A)					
			附属品： ロングライフフィルター、SAチャンバー、EAチャンバー、リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物					
ACP-6A ACP-6B	空冷HPマルチエアコン	〈室外機〉	型式： 冷暖房切替運転 呼称： 44.0 HP	3	200		2 1F	(参考型番)
			冷房能力： 122.0 Kw				設備バルコニー1、2	FDOP12205HLXB
			暖房能力： 140.0 Kw					
			圧縮機： 4.87×2=4.87×2=0.22×2					
			送風機： 0.56×2=0.56×2=0.56×2					
			騒音値： 85 dB(A)					
ACP-6C	空冷HPマルチエアコン	〈室外機〉	型式： 冷暖房切替運転 呼称： 16.0 HP	3	200		1 1F	(参考型番)
			冷房能力： 45.0 Kw				設備バルコニー1	FDOP4505HLXB
			暖房能力： 50.0 Kw					
			圧縮機： 6.33×2					
			送風機： 0.56×2					
			騒音値： 81 dB(A)					
ACP-6-1	〃 (ユカリラ)	〈室内機〉	型式 下吹床置形	1	200		7 1F	(参考型番)
			冷房能力： 28.0 Kw				体育館	DAUP2804LX
			暖房能力： 31.5 Kw					
			送風機： 7,800 m3/h					
			騒音値： 61 dB(A)					
			附属品： メインフィルター、プレフィルター、リモコン(ワイヤード)、その他標準付属品					
PAC-1	空冷HPパッケージエアコン (ペア)	〈室外機〉	型式： 冷暖房切替運転 呼称： 2.5 HP	1	200		1 2F	(参考型番)
			冷房能力： 5.6 Kw				設備バルコニー3	SZRUC63BYT
			暖房能力： 6.3 Kw					室外機用基礎ブロック
			圧縮機： 1.18					
			送風機： 0.05					
			騒音値： 68 dB(A)					
			附属品： スプリング防振					
	〈室内機〉	型式 天井カセット4方向形					1 1F	
			冷房能力： 5.6 Kw				管理事務室	
			暖房能力： 6.3 Kw					
			送風機： 1,110 m3/h					
			騒音値： 50 dB(A)					
			附属品： ロングライフフィルター、リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物					
PAC-2	空冷HPパッケージエアコン (ペア)	〈室外機〉	型式： 冷暖房切替運転 呼称： 1.8 HP	1	200		1 2F	(参考型番)
			冷房能力： 4.0 Kw				設備バルコニー3	SZRUC45BYT
			暖房能力： 4.5 Kw					室外機用基礎ブロック
			圧縮機： 0.78					
			送風機： 0.09					
			騒音値： 66 dB(A)					
	〈室内機〉	型式 天井カセット4方向形					1 1F	
			冷房能力： 4.0 Kw				休憩室	
			暖房能力： 4.5 Kw					
			送風機： 960 m3/h					
			騒音値： 48 dB(A)					
			附属品： ロングライフフィルター、リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物					
RA-1	ルームエアコン	〈室外機〉	型式： 冷暖房切替運転 呼称： 1.3 HP	1	200		1 2F	(参考型番)
			冷房能力： 3.6 Kw				設備バルコニー3	S364ATEV
			暖房能力： 4.2 Kw					室外機用基礎ブロック
			圧縮機： 0.95					
			送風機： 0.022					
			騒音値： 63 dB(A)					
	〈室内機〉	型式 壁掛形					1 2F	
			冷房能力： 3.6 Kw				操作室	
			暖房能力： 4.2 Kw					
			送風機： 888 m3/h					
			騒音値： 64 dB(A)					
			附属品： ロングライフフィルター、リモコン(ワイヤード)、ドレンアップメカ、防振吊金物					

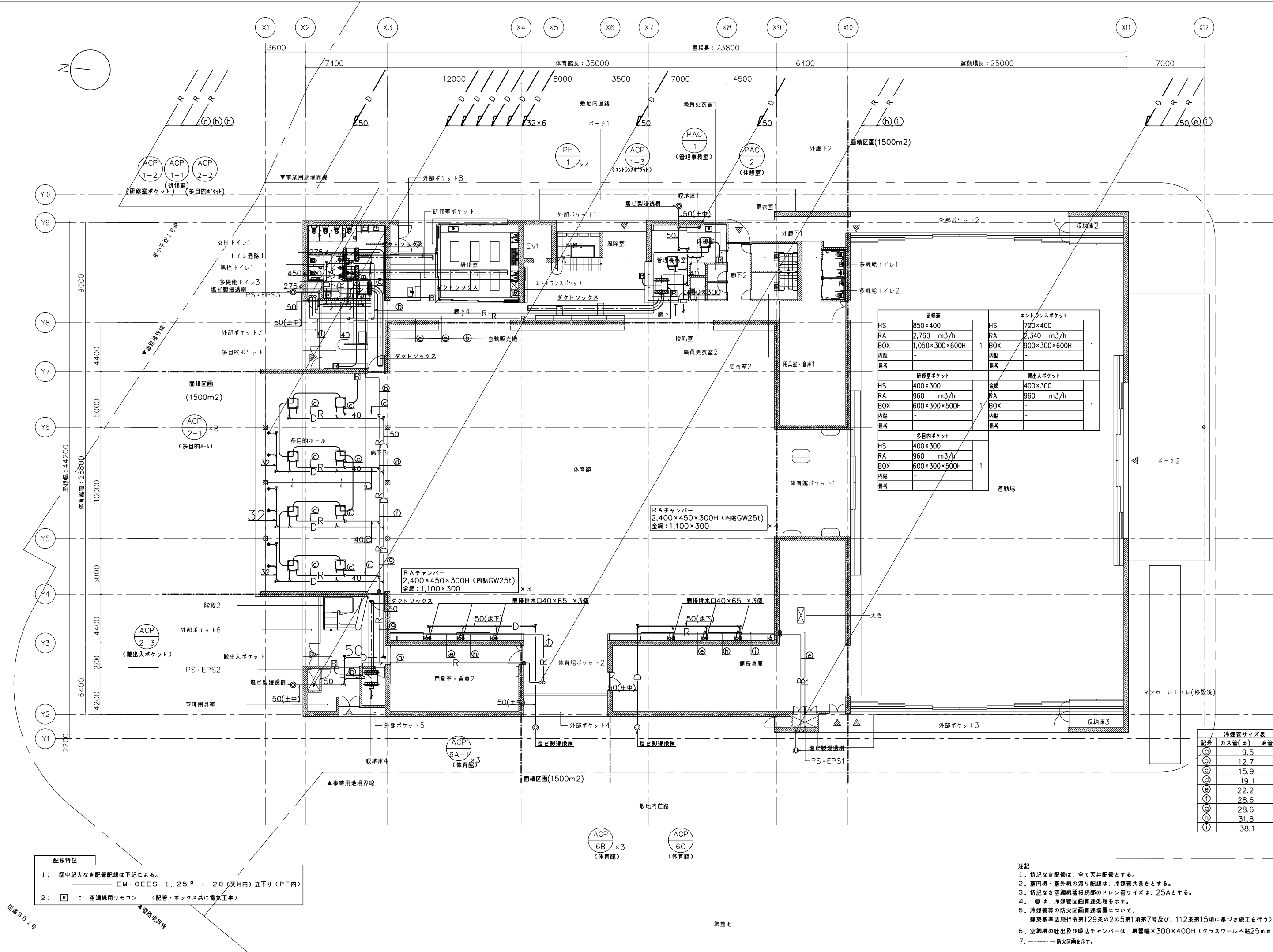
注 記

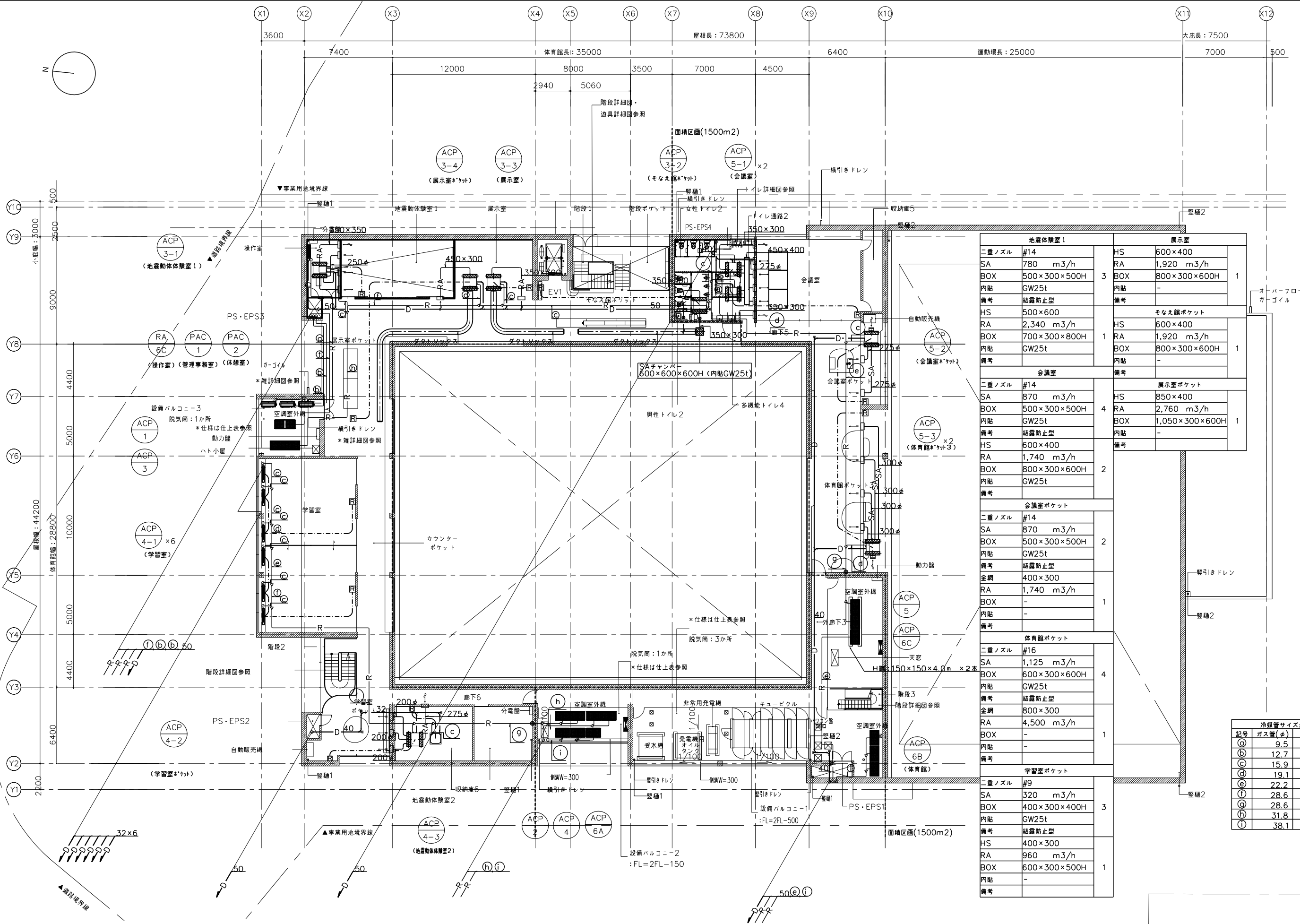
※ 機器はメーカー標準品とし、標準付属品は全て含むものとする。
※ エアフィルターの予備は 100 %とする。
※ エアフィルターは製造者標準を除き、下記とする。
※ ロングライフフィルター: 重量法 50%以上、中性能フィルター: 比色法 65%、高性能フィルター: 比色法 90%

※ 室外機の支持ボルトおよびナット・転倒防止金具はステンレス製とする。
※ 冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。
※ 室内外機の渡り配線は、冷媒配管共巻の本工事とする。
※ 室内機～リモコン間の信号配線・配管は本工事とする。

※ 冷房・暖房能力は、JIS B 8616の条件による能力及び冷媒管長さ等により、能力補正を行って決定された機器能力とする。
※ 高調波対策品とする。
※ 室外機には、フィンガード及び排気フードを見込む事。







地震体験室1				展示室			
二重ノズル	#14			HS	600×400		
SA	780	m3/h		RA	1,920	m3/h	
BOX	500×300×500H		3	BOX	800×300×600H		1
内貼	GW25t			内貼	-		
備考	結露防止型			備考			
HS	500×600			そなえ館ポケット			
RA	2,340	m3/h		HS	600×400		
BOX	700×300×800H		1	RA	1,920	m3/h	
内貼	GW25t			BOX	800×300×600H		1
備考				内貼	-		
会議室				備考			
二重ノズル	#14			展示室ポケット			
SA	870	m3/h		HS	850×400		
BOX	500×300×500H		4	RA	2,760	m3/h	
内貼	GW25t			BOX	1,050×300×600H		1
備考	結露防止型			内貼	-		
HS	600×400			備考			
RA	1,740	m3/h					
BOX	800×300×600H		2				
内貼	GW25t						
備考							
会議室ポケット							
二重ノズル	#14						
SA	870	m3/h					
BOX	500×300×500H		2				
内貼	GW25t						
備考	結露防止型						
全網	400×300						
RA	1,740	m3/h					
BOX	-		1				
内貼	-						
備考							
体育館ポケット							
二重ノズル	#16						
SA	1,125	m3/h					
BOX	600×300×600H		4				
内貼	GW25t						
備考	結露防止型						
全網	800×300						
RA	4,500	m3/h					
BOX	-		1				
内貼	-						
備考							
学習室ポケット							
二重ノズル	#9						
SA	320	m3/h					
BOX	400×300×400H		3				
内貼	GW25t						
備考	結露防止型						
HS	400×300						
RA	960	m3/h					
BOX	600×300×500H		1				
内貼	-						
備考							

冷媒管サイズ表		
記号	ガス管(φ)	液管(φ)
㊶	9.5	6.4
㊷	12.7	6.4
㊸	15.9	9.5
㊹	19.1	9.5
㊺	22.2	9.5
㊻	28.6	12.7
㊼	28.6	15.9
㊽	31.8	19.1
㊾	38.1	19.1

- 配線特記
- 1) 図中記入なき配管配線は下記による。
---#--- EM-CEES 1, 25^φ - 2C (天井内) 立下り (PF内)
- 2) ㊶ : 空調機用リモコン (配管・ボックス共に電気工事)

- 注記
1. 特記なき配管は、全て天井配管とする。
2. 室内機・室外機の渡り配線は、冷媒管共巻きとする。
3. 特記なき空調機器接続部のドレン管サイズは、25Aとする。
4. ●は、冷媒管区分貫通位置を示す。
5. 冷媒管等の防火区分貫通措置について、
建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号及び、112条第15項に基づき施工を行う。
6. 空調機の吐出及び吸込チャンバーは、機器幅×300×400H (グラスウール内貼25mm) とする。
7. ----- 防火区画を示す。

1. 工事概要

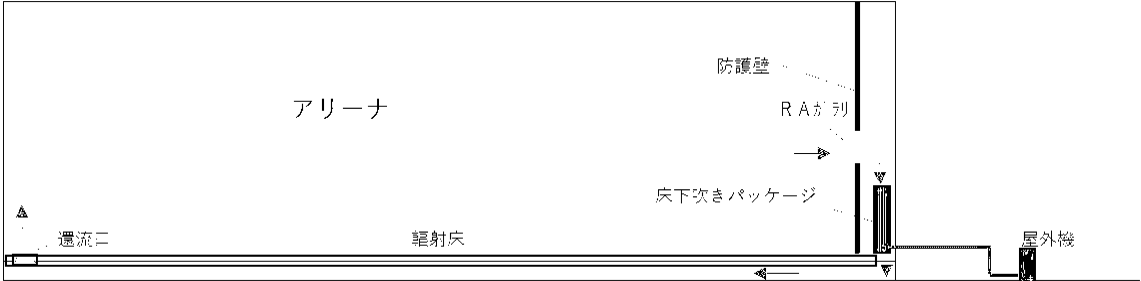
工事名称	小千谷市防災センター整備事業建設工事
工事場所	新潟県 小千谷市
建物概要	建物名称 防災センター
	主要構造 RC造 地上2階
工 期	2025. 09 ～ 2027. 03

2. 工事仕様

- 国土交通省大臣官房官庁宮舘部監修『公共建築工事標準仕様書（ 機械設備工事編） 』最新版による。
- 空気調和衛生工学会規格（HASS 010）『空気調和衛生設備工事標準仕様書』による。
- 社団法人日本建築家協会監修の（ 以下「共通仕様書」という） 、『機械設備工事共通仕様書（ 最新版） 』による。
- 耐震設計・施工については国土交通省国土技術政策総合研究所建築設備耐震設計・施工指針最新版による。

3. システム概要

1F 体育館内壁面に沿って床下吹きパッケージ10馬力を7台設置します。
サブライ空気は体育館床下流路、鋼製床組を經由して床面下部に向け放射され床面全体を輻射空調面とします。
レターン空気は体育館床面に設置する還流口より室内に開放され、パッケージ吸込口に取り込まれます。

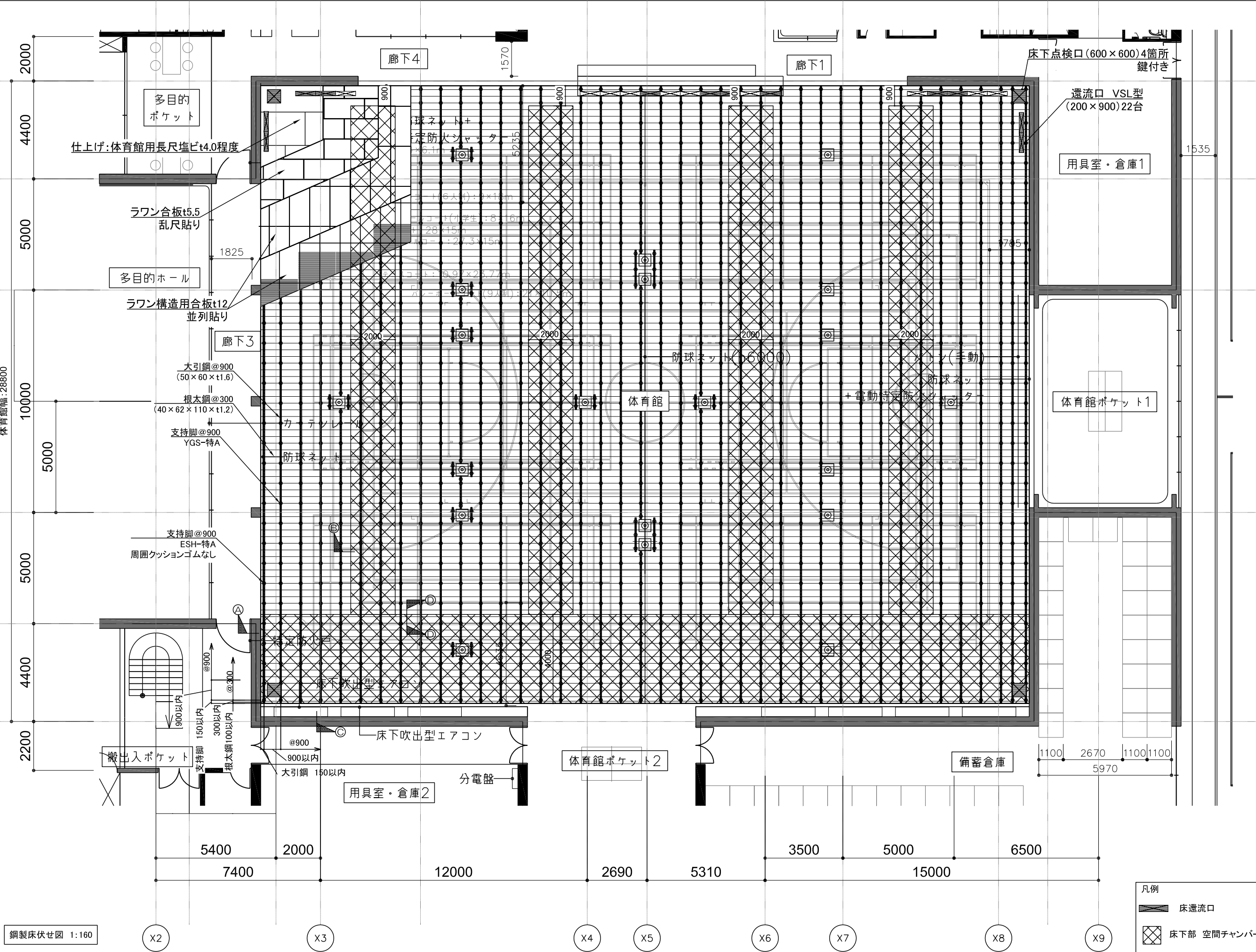


4一般事項

項 目	特 記 事 項
①設計図の優先順位	1 . 現場説明書、質疑回答書 2 . 本特記仕様書 3 . 設計図 4 . 共通仕様書
②現場代理人の資格	次の資格を有する者で経歴書及び会社組織表を提出し、監理者の承諾を受けた者とする。 ・ 管工事施①管理技士（ ・ 1級 ・ 2級） ・ 建築設備士 ・ なし ・ 管工事施②管理技士（ ・ 1級 ・ 2級） ・ 建築設備士 ・ なし
③機器及び材料	機材はメーカーリストによる他、同等品以上とし、請負者は発注前に監理者の指示に従い 「使用予定機材一覧表」を提出して監理者の承諾を受ける。
④機器仕様	図中の特記事項を除きすべて ・ 標準仕様書による。
⑤下請負業者	下請負業者の決定については、工着手前に下請負人通知書を提出して監理者の承諾を受ける。
⑥技能士の適用	・ 配管施工（建築配管作業） ・ 熱絶縁施工 ・ ダクト施工
⑦機材等の検査、試験	工場検査及び工場試験を行う機器材料は、共通仕様書による他、次記項目とする。
⑧監理者事務所	・ 設ける ・ 設けない
⑨工事用電力、水、他	工事用及び試験用電力、用水、排水、その他の工事に必要な諸官庁への手続き、および 施工に要する費用及び使用料金は、 ・ すべて請負者の負担とする。 ○ ・ 別途とする。
⑩発生材の処理	引渡しを要するもの ・ なし ・ あり 引渡しを要しない物はすべて場内指定場所に集積する。
⑪工事報告	・ 月報 ・ 旬報 ・ 週報 ・ 日報 ・ 打合せ記録を提出する。
⑫耐震措置	地域係数○・ 1.0 ・ 0.9 ・ 0.8 ・ 0.7 設計用標準震度（ 防震機器は＊ 印とする） 最上階、屋上及び塔屋 1.5 / 2.0＊ 2階床以上 1.0 / 1.5 ＊ 地階及び1階 0.6 / 1.0＊
⑬試運転調整データ	次記の項目について測定データを提出する。 ・ 風 量 パッケージ吸込口 風量 還流口 風量 （設計数値±10％） ・ 乾球 温度 室内中央部 床面温度、FL+100、FL+1500、FL+3000、FL+5000（設計基準値±2℃） 室内4分割中心部 床面温度、FL+1500 （設計基準値±2℃） ・ 作用温度 室内中央部 床面温度、FL+1500（設計基準値±2℃） ・ 設計基準値 夏季 室温26℃ 床面温度22℃ 作用温度28℃ 冬季 室温20℃ 床面温度22℃ 作用温度18℃
⑭完成図書	建築特記仕様書による。

5. 工事区分

工事関連項目	建築工事	機械工事	電気工事	輻射空調工事
1. 工事用電力・水提供	○			
2. 仮設揚重機器の無償使用	○			
3. 現場発生材の処理	○			
4. 現場作業員休憩所・トイレ提供	○			
5. 空調機器（架台・ガイドベーン共）				○
6. 同上設置工事				○
7. 屋外機の基礎	○			
8. 冷媒配管・ドレン配管工事				○
9. 同上工事に伴うスリーブ設置	○			
10. 同上スリーブ補強工事	○			
11. パッケージ屋外機・屋内機への電源供給			○	
12. リモコンへパッケージ周配線配管				○
13. パッケージ屋内機～屋外機間電気配線				○
14. 体育館内床工事				○
鋼製下地、ラワン構造用合板t12mm				○
ラワン合板t12mm、t5. 5mm 仕上げ材、ライン引き	○			
15. 床下流路工事				○
16. 体育館内空調機スペース防護壁（点検扉付き）	○			
17. 同上壁に設置するRAガラリ	○			
18二重床内外周リ立上げ壁部断熱工事	○			
19. 還流口取付工事				○
20. 床了点検口				○
21. 床下断熱シート張り工事				○
試運転調整				○

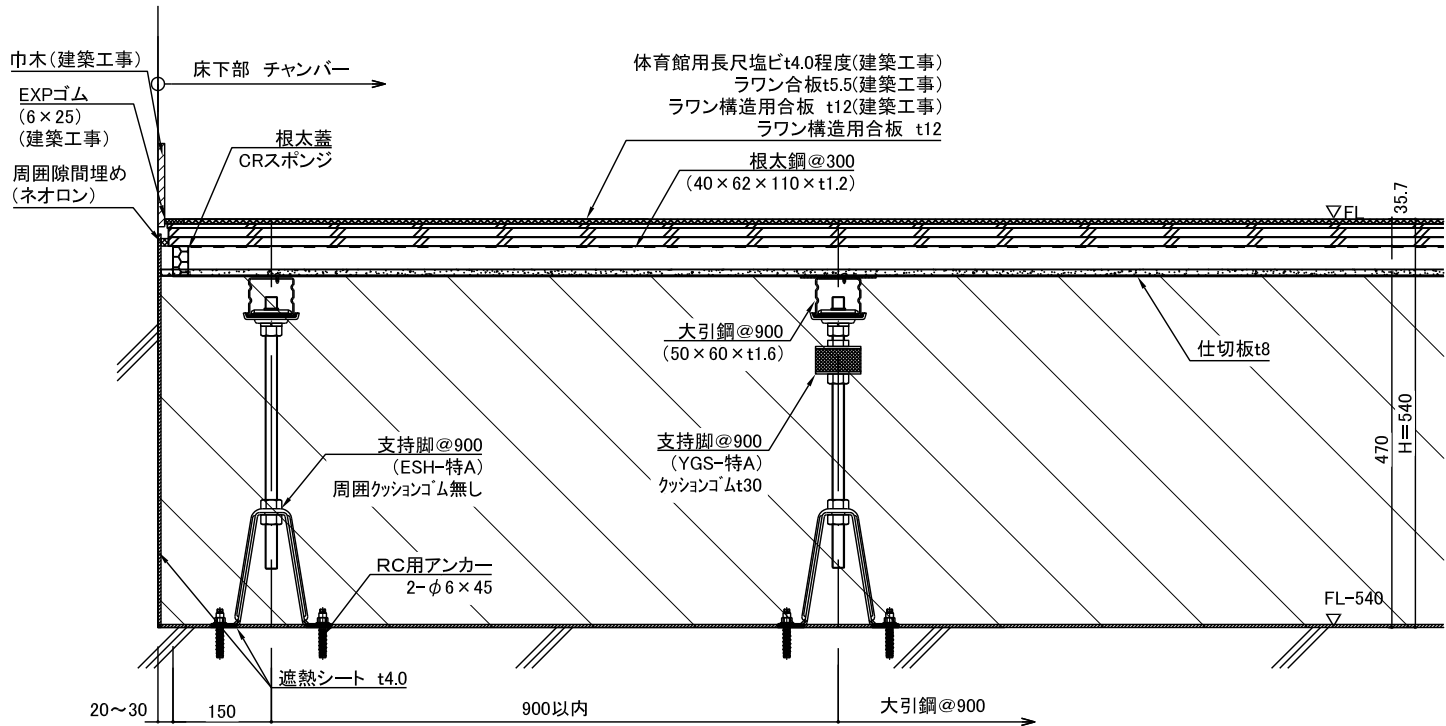


鋼製床伏せ図 1:160

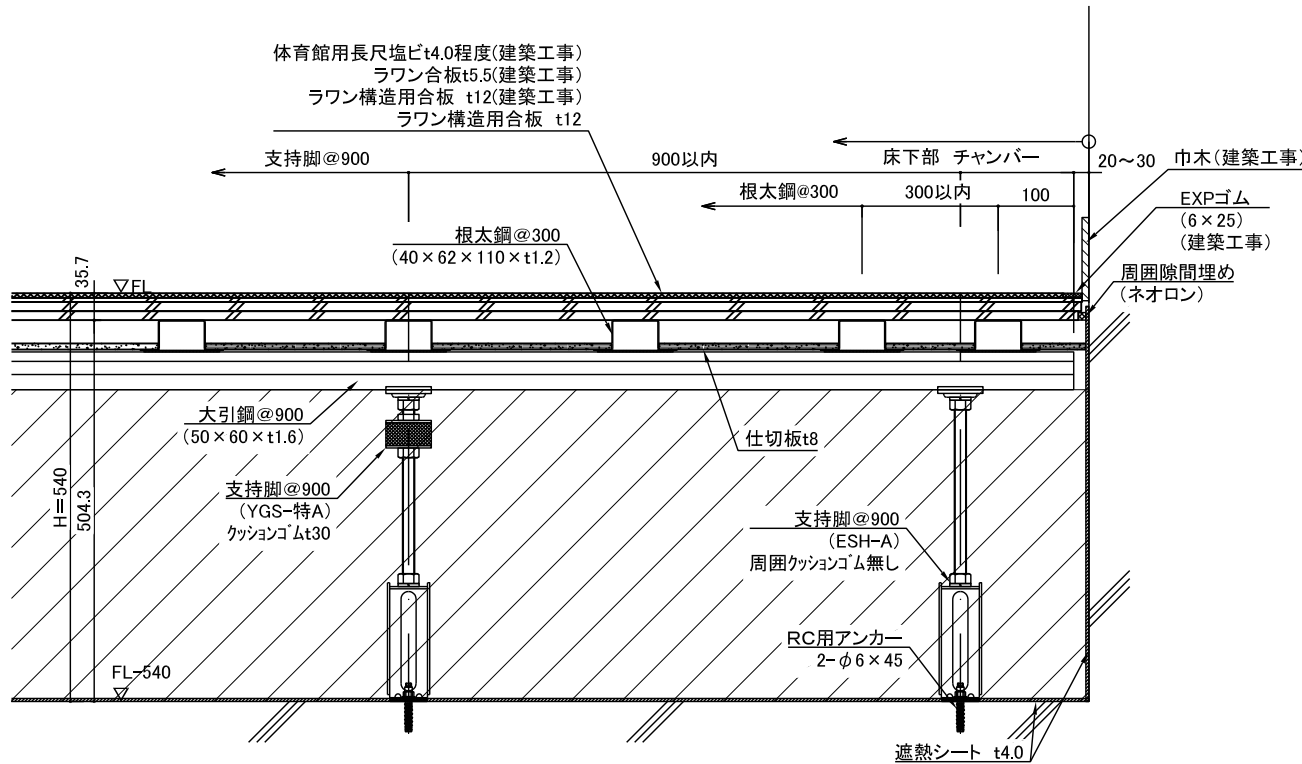
凡例

- 床還流口
- 床下部 空間チャンパー

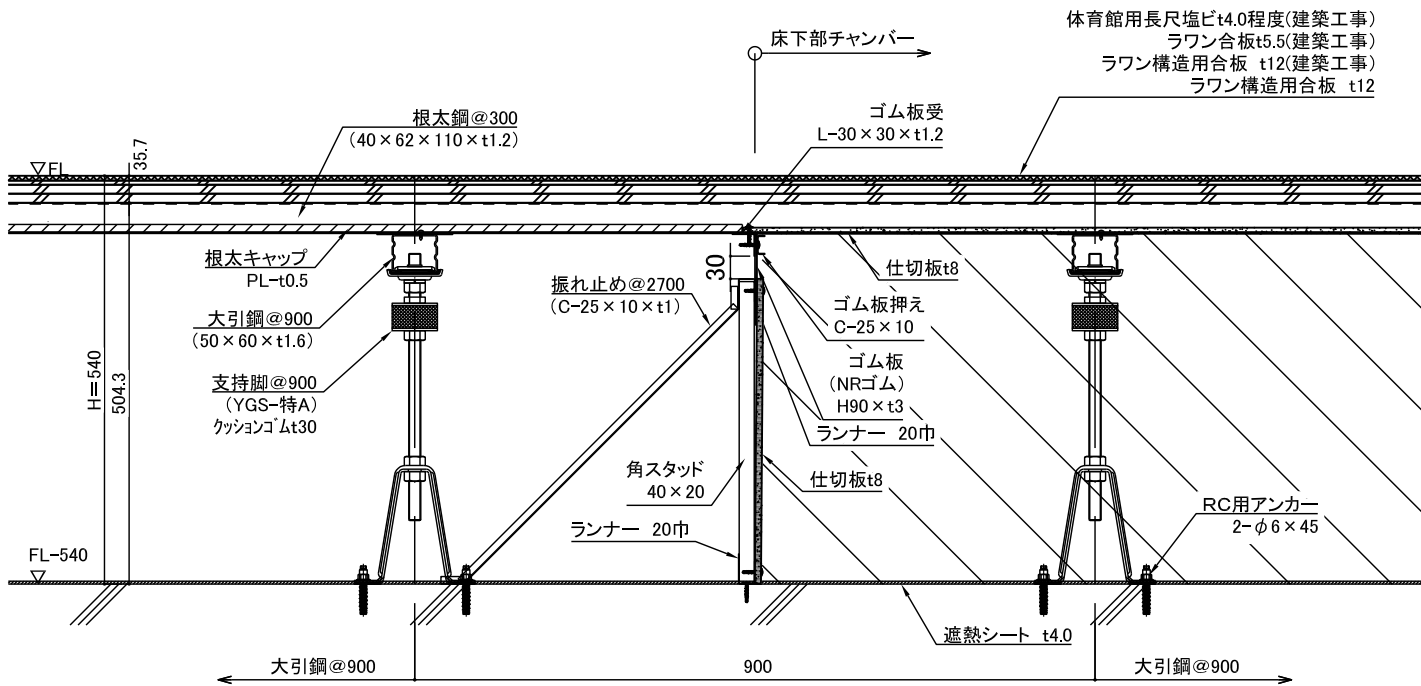
床下部空間チャンバー A部断面詳細図(根太方向)



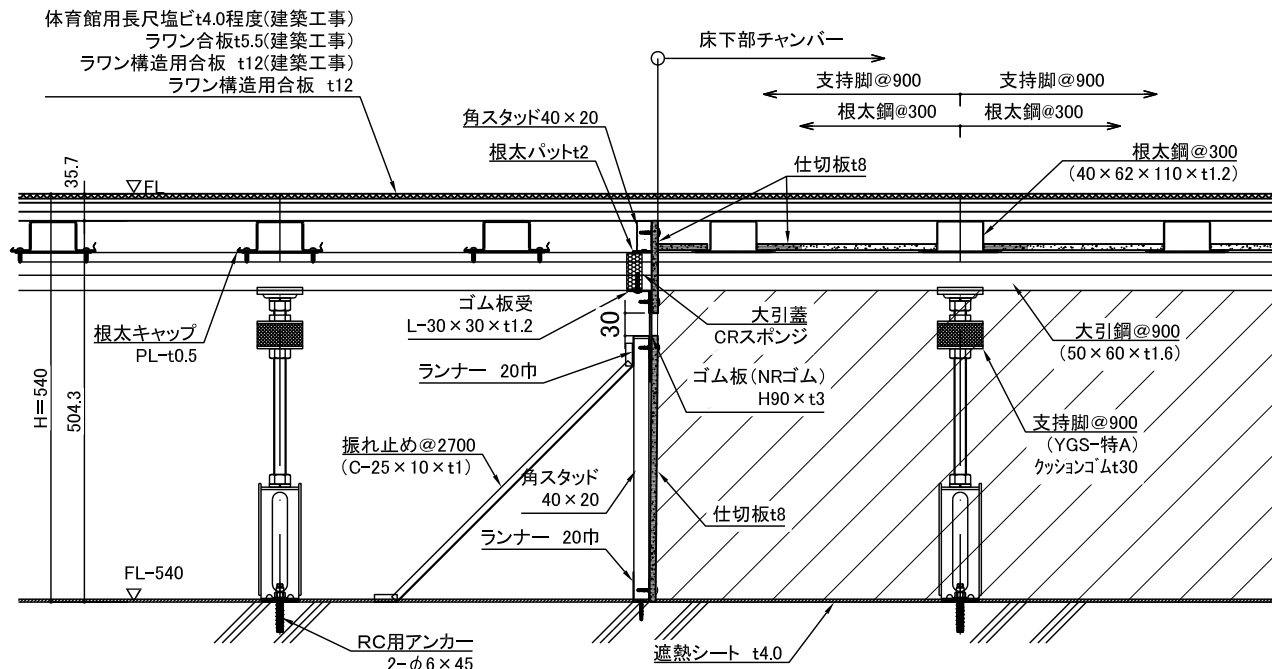
床下部空間チャンバー C部断面詳細図(大引方向)

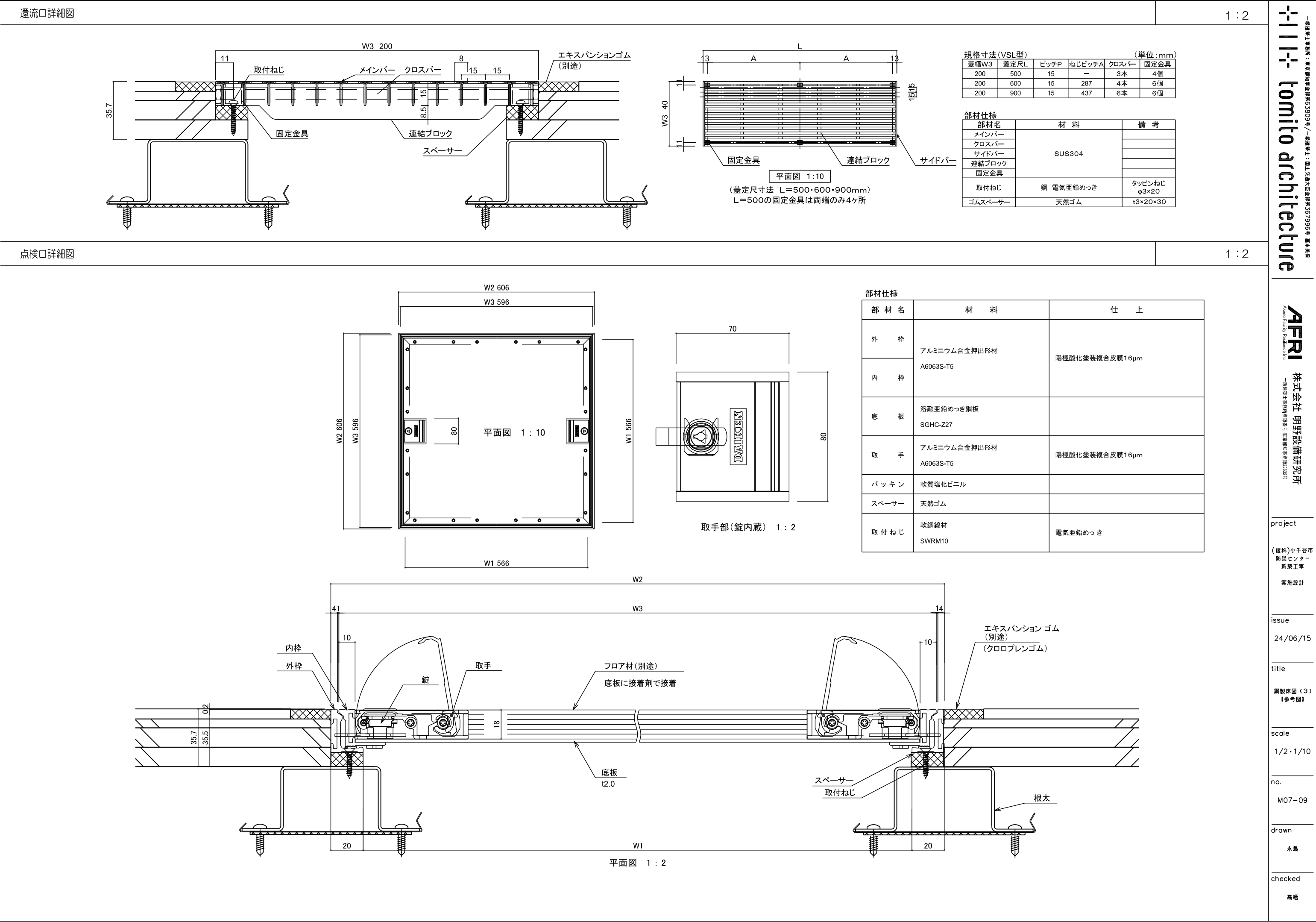


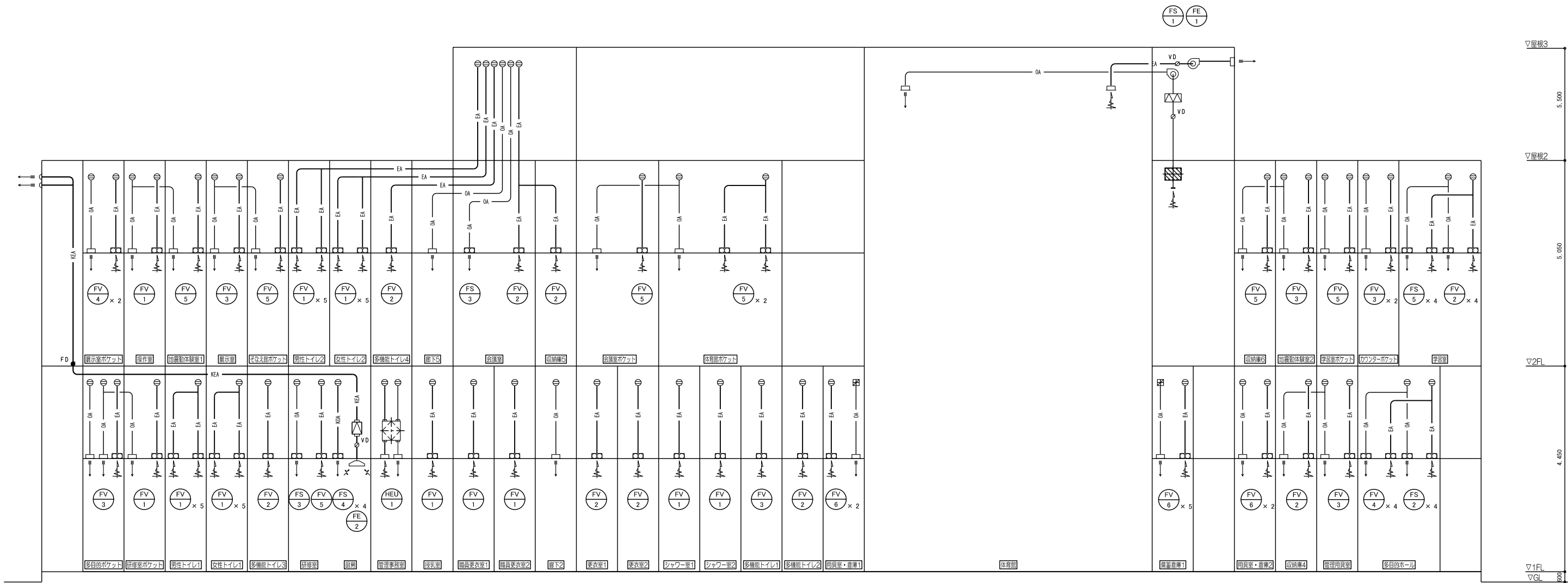
床下部空間チャンバー B部断面詳細図(根太方向)



床下部空間チャンバー D部断面詳細図(大引方向)







換気設備機器表																
機 器 番 号	名 称	仕 様			電 気 容 量					付 属 品			台数	設 置 場 所		備 考
		型 式	風 量 (m3/h)	静 圧 (Pa)	消費電力 (kW)	相・電圧 (φ-V)	操作	制御	発電機 回路	防振	ウレタンカバー	その他		階	場 所	
HEU-1	全熱交換器	天井隠蔽ダクト形	250	170	0.2	1-100	M	24SW	－	○			1	1	管理事務室・休憩室	
FS-1	給気ファン	片吸込シロッコファン（床置型） #1.5	3,000	350	2.2	3-200	M	24SW	－	○			1	R	体育館	（連動）
FE-1	排気ファン	片吸込シロッコファン（床置型） #1.5	3,000	350	2.2	3-200	M	－	－	○			1	R	体育館	（連動）
FE-2	排気ファン	ストレートシロッコファン（天吊・消音形）	1,800	180	0.5	3-200	M	SW	－	○			1	1	研修室（厨房フード）	（連動）
FE-3	排気ファン	ストレートシロッコファン（天吊・消音形）	300	200	0.1	1-100	M	24SW	－	○			(1)	2	地震動体験室 1	（連動）
FS-2	給気ファン	天井換気扇（低騒音形）	250	120	0.1	1-100	M	24SW	－	○			4		多目的ホール	（連動）
FS-3	給気ファン	天井換気扇（低騒音形）	300	200	0.1	1-100							計2			（連動）
							M	24SW	－	○			(1)	1	研修室	（連動）
							M	24SW	－	○			(1)	2	会議室	（連動）
FS-4	給気ファン	天井換気扇（低騒音形）	450	110	0.1	1-100	M	－	－	○			4	1	研修室（厨房）	（連動）
FS-5	給気ファン	天井換気扇（低騒音形）	150	100	0.1	1-100	M	24SW	－	○			4	2	学習室	（連動）
FV-1	排気ファン	天井換気扇（低騒音形）	100	120	0.1	1-100							計27			（連動）
							M	24SW	－	○			(1)	1	授乳室	
							M	SW	－	○			(1)	1	職員更衣室 1	
							M	SW	－	○			(1)	1	職員更衣室 2	
							M	SW	－	○			(1)	1	US(更衣室1)	
							M	SW	－	○			(1)	1	US(更衣室2)	
							M	SW	－	○			(5)	1	男性用トイレ 1	
							M	SW	－	○			(5)	1	女性用トイレ 1	
							M	24SW	－	○			(1)	2	研修室ポケット	
							M	SW	－	○			(5)	2	男性トイレ2	
							M	SW	－	○			(5)	2	女性トイレ2	
							M	24SW	－	○			(1)	2	操作室	
FV-2	排気ファン	天井換気扇（低騒音形）	150	150	0.1	1-100							計12			（連動）
							M	SW	－	○			(1)	1	更衣室 1	
							M	SW	－	○			(1)	1	更衣室 2	
							M	SW	－	○			(1)	1	多機能トイレ 2	
							M	SW	－	○			(1)	1	収納庫 4	
							M	SW	－	○			(1)	1	多機能トイレ 3	
							M	SW	－	○			(1)	2	多機能トイレ 4	
								－	－	○			(2)	2	会議室	（連動）
								－	－	○			(4)	2	学習室	（連動）
FV-3	排気ファン	天井換気扇（低騒音形）	200	130	0.1	1-100							計7			（連動）
							M	SW	－	○			(1)	1	多機能トイレ 1	
							M	24SW	－	○			(1)	1	管理用具室	
							M	24SW	－	○			(1)	1	多目的ポケット	
							M	24SW	－	○			(1)	2	地震動体験室 2	
							M	24SW	－	○			(2)	2	カウンターポケット	
							M	24SW	－	○			(1)	2	展示室	
FV-4	排気ファン	天井換気扇（低騒音形）	250	110	0.1	1-100							計6			（連動）
								－	－	○			(4)	1	多目的ホール	（連動）
							M	24SW	－	○			(2)	2	展示室ポケット	
FV-5	排気ファン	天井換気扇（低騒音形）	300	200	0.1	1-100							計7			（連動）
								－	－	○			(1)	1	研修室	（連動）
							M	24SW	－	○			(1)	2	会議室ポケット	
							M	24SW	－	○			(2)	2	体育館ポケット	
							M	SW	－	○			(1)	2	収納 6	
							M	24SW	－	○			(1)	2	学習室ポケット	
							M	24SW	－	○			(1)	2	そなえ館ポケット	
FV-6	排気ファン	天井換気扇（低騒音形）	400	160	0.1	1-100							計9			
							M	SW	－	○			(2)	1	用具庫・倉庫1	
							M	SW	－	○			(5)	1	備蓄倉庫	
							M	SW	－	○			(2)	1	用具庫・倉庫2	

注 記

※ 操作は、R（遠隔）、A（自動）、H（手動）を記入

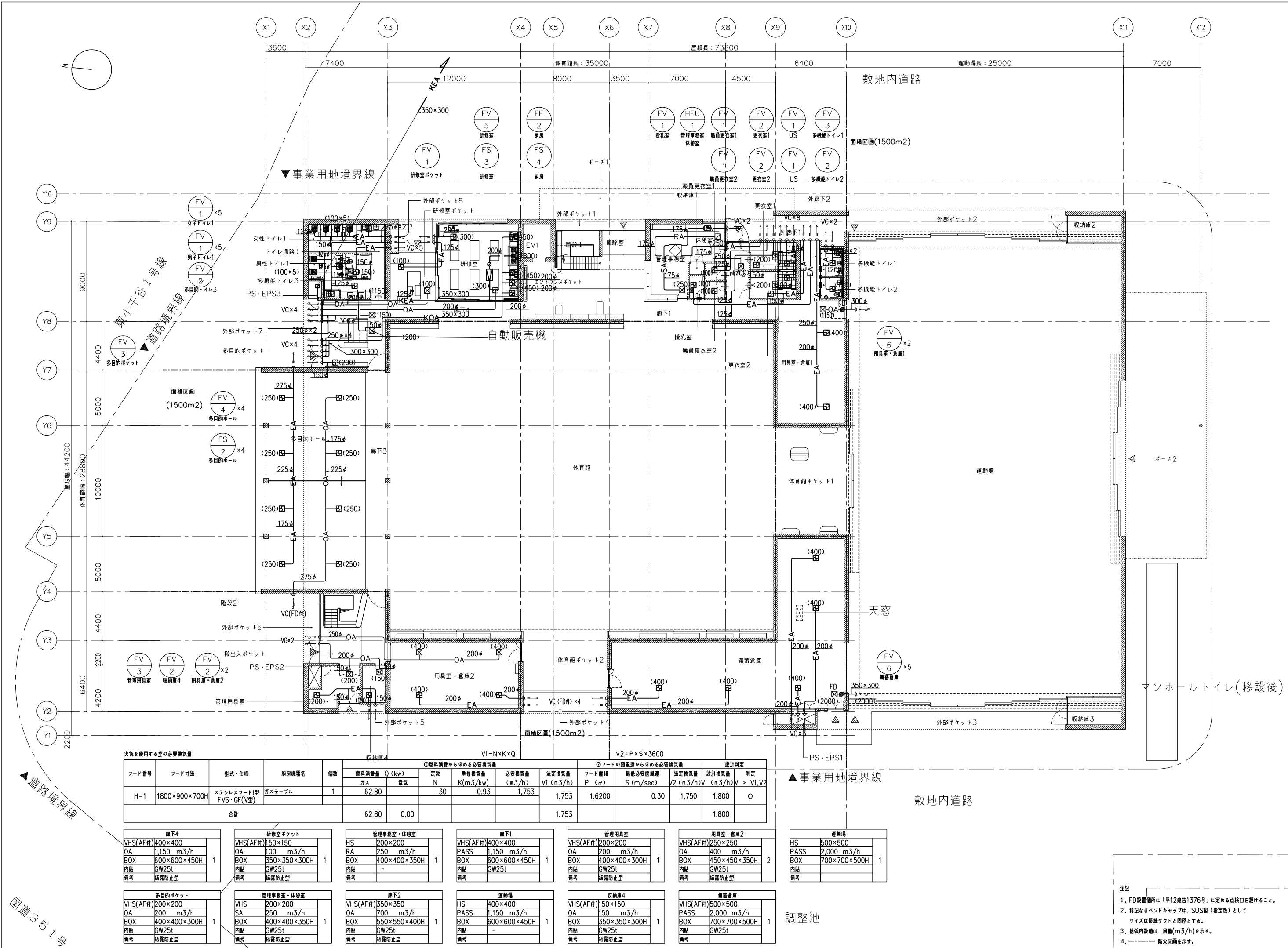
※ 制御は、SW（入切スイッチ）、24SW（24時間換気対応スイッチ）、PZ（強弱スイッチ）、INV（インバータースイッチ）、LS（照明連動）、TS（タイマースイッチ）、HE（湿度スイッチ）、HC（温度スイッチ）、R（リモコン）

※ 斜流ダクト形、消音ボックス付片吸込シロッコファン、天井扇は、防振ゴム付とする。

※ 番手#2以上の天吊型送風機は、形鋼製架台に防振架台を介して取付けるものとし、#2以上は防振架台付とする。

※ 24H換気対応機器のスイッチは24H換気用プレートとする。

※ 床置型シロッコファンは、防振スプリング付とする。



project

(仮称)小千谷市
防災センター
新築工事
実施設計

issue

24/06/15

title

換気設備
2階平面図

scale

1/300

no.

M08-04

drawn

永島

checked

高橋

